

発行/ASJ社 年間購読料 6,000円(税、送料込) 1冊1,000円(税別)

a&S

The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

JAPAN

www.asj-corp.jp Mar/Apr. 2019 no.69

■ 特集：スマートホームとビルにおけるLoRa導入の牽引力

■ 増ページ：IPVMダイジェスト



第27回 セキュリティ・安全管理総合展

SECURITY SHOW 2019



日本のセキュリティが進化する4日間

有力セキュリティ企業180社が集結。防犯カメラからテロ対策まで、社会とビジネスを守る技術が一室に

2019年3月5日(火) - 8日(金) 10:00~17:00 (最終日は16:30まで) 東京ビッグサイト [東7・8ホール] NIKKEI MESSE

主催：日本経済新聞社

後援：警察庁、公安調査庁、(独) 情報処理推進機構、日本商工会議所、
全国商工会連合会、日本貿易振興機構(ジェトロ) (順不同)

協力：テレビ東京、日経BP社 (順不同)

入場料：3,000円 ※税込み、同時開催の全展共通、ウェブサイトの来場事前登録で無料
同時開催：JAPAN SHOP / 建築・建材展 / ライティング・フェア / リテールテックJAPAN /
Future Office Tech & Facility / フランチャイズ・ショー (3月6日から)

お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600 (3月末までご案内)

<http://www.securityshow.jp/>

高信頼性サイバーセキュリティ



WISeNET 映像監視ソリューション

サイバーセキュリティ専門組織 S-CERT

サイバーセキュリティの専門組織であるS-CERTは、Wisenet(ワイズネット)製品に対するサイバー攻撃発生時に対抗措置を分析のうえ準備。セキュリティ上の脆弱性に速やかに対処します。(secure.cctv@hanwha.com)

サーバーハッキング検証と強力なセキュリティ政策

開発段階での外部ホワイトハッカー組織による製品へのハッキング検証工程運用とハイレベルID/パスワード政策による外部ハッキング攻撃からも安全性を確保。



クライアント

初期パスワード非提供



HTTP/HTTPS

ユーザー認証
映像データ暗号化伝送



ウェブサーバー

Backdoor Removal
(No Telnet & SSH)



アプリケーション

安心コーディング
F/W 暗号化 F/W 暗号化



データベース

データベース暗号化

Hanwha Techwin Co., Ltd.

〒13488 韓国京畿道城南市盆唐区板橋路319番路6 Tel: +81-70-7147-6755 Fax: +81-31-8018-3740

販売代理店

株式会社ティービーアイ

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン28F
Tel: 03.6841.8200 Fax: 03.6841.8299
www.tbeye.com

兼松サステック株式会社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-3-2トルナーレ
Tel: 03.6631.6581 Fax: 03.6631.6639
www.ksustech.co.jp

ハンファQセルズジャパン株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4-10-1 ハンファビル9階
Tel: 03.5441.5900 Fax: 03.5441.5920
www.wisenetjapan.com

目次

特集

スマートホームとビルにおける LoRa導入の牽引力	28 - 32
------------------------------	---------

新連載

クラウドの利点と活用	34 - 37
------------	---------

イベント情報

SECURITY SHOW直前情報	39 - 41
ASIS東京セキュリティ・カンファレンス2019	42
展示会、プライベートショー日程	43



IPVMダイジェスト 8, 10 - 20

産業ニュース 21 - 24

新製品情報 25 - 27

読者の声 44

※連載記事 よくわかるIPネットワークは今回は休載します

広告索引

広告主名 (ABC順)	掲載ページ
Hanwha Techwin	1
HIKVISION	3
IDIS	7
ジャバテル	4 - 5
ジェイセキュリティ	9
SECUTECH 2019	表四
SECUTECH THAILAND	表三
SECUTECH VIETNAM	33
日本経済新聞社	表二

次号案内 2019年 5/6月号 (5月15日発行予定)

(誌面の都合上、変更になることがあります)

特集

アクセス・コントロール

連載

市場慧眼、クラウドの利点と活用、新連載

a&s JAPAN

©ASJ合同会社 2019年 3-4月号 No.69
The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

発行人 小森堅司 DTP サンフィール

a&s JAPANは、Messe Frankfurt New Era Media発行のa&s International、a&s Asiaをはじめとするa&s各誌の独占翻訳権を特約して発行するセキュリティ国際情報誌です。

ASJ合同会社

Advanced Security Journal LLC

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-7-1ウイン神田ビル10階

電話：03-6206-0448 FAX：03-6206-0452

■広告に関するお問い合わせは

E-mail：komori@asj-corp.jp

■購読に関するお問い合わせは

E-mail：reader@asj-corp.jp

■記事情報提供に関するお問い合わせは

E-mail：info@asj-corp.jp

■DM代行サービスおよび電子メール配信サービス

当社では、企業の依頼によりDMまたは電子メールで情報をお届けすることがあります。

これらのサービスでは、読者の皆様の個人情報を当該企業には一切公開しておりません。

TURBO
5.0 HD

AcuSense

ColorVu

肉眼より **もっと!**

アナログDVR・カメラも遂に**進化!**あなたの世界を**彩る**



電源重畳・同軸 1 本で 5 MEGAまで
多彩な**特徴抽出**によって**効率UP**
漆黒な夜でも**COLOR**で撮る
Deep Learningによって更に**高精度**

Genetec NVRアプライアンス 1カメラ単位で16カメラまで、追加ユニットで最大50カメラに対応。これ一台で今すぐ、最高峰のビデオ監視とアクセスコントロール。

上位モデルSV-300E SV-1000Eを用意。さらに画像分析アプライアンスSVAシリーズ



入退管理も含んだ仕様でこの価格、上位モデルも豊富に用意しています。



サイズ H36mm D178mm W182mm

Streamvault SV-100E

All-in-one security appliance by Windows 10 IoT

最大16カメラ/16カードリーダー

P/N SV-100E-2T-I3 256GB M.2 SSD / 2TB HDD

ジャパテル価格 284,100円

P/N SV-100E-1T-I3 256GB M.2 SSD / 1TB HDD

ジャパテル価格 275,400円

P/N SV-100E-2T-I3-ARC 256GB M.2 SSD / 2TB HDD

ジャパテル価格 214,200円

P/N SV-100E-1T-I3-ARC 256GB M.2 SSD / 2TB HDD

ジャパテル価格 205,700円

P/N GSC-SV-AIO-1C 1カメラライセンス

ジャパテル価格 13,800円

詳細は <https://security-center.tokyo/> <https://nvr.jp/>

Javatel アイロク アプライアンス



サイズ H51mm D115mm W111mm



エイ
ロク

eiROKU value MICRO-ei

All-in-one eiROKU appliance by Windows 10 IoT

4カメラLite ライセンス含むプリインストール

P/N MIC-ei-5G-4L 500GB HDD 希望小売価格 98,600円

P/N MIC-ei-1T-4L 1TB HDD 希望小売価格 101,400円

8カメラStandard ライセンス含むプリインストール

P/N MIC-ei-1T-8S 1TB HDD 希望小売価格 118,300円

P/N MIC-ei-2T-8S 2TB HDD 希望小売価格 124,200円

カメラライ
センスの更
新、追加、
サーバーの
追加による
スケーラビ
リティを
保証。

eiROKU value MINI-ei

All-in-one eiROKU appliance by Windows 10 IoT

8カメラStandard 1年更新権利ライセンス含むプリインストール

P/N MIN-ei-1T-3-8S 120GB M.2 SSD / 1TB HDD 希望小売価格174,300円

P/N MIN-ei-2T-3-8S 120GB M.2 SSD / 2TB HDD 希望小売価格180,200円

16カメラStandard 1年更新権利ライセンス含むプリインストール

P/N MIN-ei-2T-3-16S 120GB M.2 SSD / 2TB HDD 希望小売価格204,400円

P/N MIN-ei-4T-3-16S 120GB M.2 SSD / 4TB HDD 希望小売価格226,900円



サイズ H155mm D155mm W80mm
Core i7 6C/12Tまで対応モデル有り。

エイロク ソフトウェアライセンス価格

P/N eiROKU-S-1Y Standard PKG 1年間更新権利付きMSRP 3,300円

P/N eiROKU-S-3Y Standard PKG 3年間更新権利付きMSRP 4,900円

P/N eiROKU-P-1Y Pro PKG 1年間更新権利付きMSRP 9,700円

P/N eiROKU-P-3Y Pro PKG 3年間更新権利付きMSRP 15,500円

P/N eiROKU-S2P-UP StandardからPro更新MSRP 7,700円

P/N eiROKU-S-UP-1Y Standard PKG 1年間更新権利追加MSRP 1,250円

P/N eiROKU-S-UP-3Y Standard PKG 3年間更新権利追加MSRP 1,790円

P/N eiROKU-P-UP-1Y Pro PKG 1年間更新権利追加MSRP 3,950円

P/N eiROKU-P-UP-3Y Pro PKG 3年間更新権利追加MSRP 6,290円

ライセンス数1以上2,4,8,16,32,64,128,256毎に単価が下がります。

詳細は <https://nvr.jp/>

WebRTC / HTML5 MSE / HLS / Flash / UMS / MPEG2-TS プロトコル同時混合対応

オンプレミス: Docokameアプライアンス 自営サーバー 最小のサーバー構成 概算16万から
VPSクラウド: 回線コスト定額で利用可能 1カメラ月額1000円(50GB/日)から初期費用別途
プライベートクラウド: AWS AZURE Googleでコンサルから設定運用保守までサポート

映像音声配信を利用する場合のあらゆるニーズ実現できる、Windowsベースのサーバーソフトウェアです。アドバンテージ: 徹底された低遅延、タイムシフトと多彩なプロトコル同時混合サポート。

テレワークリモートミーティング Web会議 Webコールセンター ウェブセミナー フィールドメンテナンス支援 サイネージ受付巡回 警備 交通カメラ配信 工場見える化 店舗見える化 議会中継 工場見える化……

商用デモサイト
 スキー場からのライブ配信
 推奨ブラウザ
 Chrome, Safari, Edge, Firefox

<http://www.kk-mikami.co.jp/web-camera/index.html>

Javatel Encoder/Decoder and etc. ソリューション



Cellinx HD-SDIエンコーダ
 P/N URH900A
ミカミプロトコル・ネイティブ・サポートでPTZの位置の絶対値制御、読取に対応。
 希望小売価格 ¥108,000円
 Genetec API ONVIF



HDMIエンコーダ
 P/N ION-E100-HD
 希望小売価格 ¥128,000円
 Genetec API ONVIF



HDMIエンコーダ
 P/N FB200
 希望小売価格 ¥78,000円
 PTZシリアル無し、RTSP RTMP

あらゆるビデオシグナル (RGB VGA DVI HDMI DP HD-SDI) をシームレスにサポートはジャバテルにご用命ください。 Blackmagic Design / Gefen スケイラーコンバーター シグナルコンバータとの組み合わせで実現します。



HDMI/BNC 出力 デコーダ
 P/N ION-R100
 希望小売価格 ¥128,000円
 Genetec API ONVIF



HDMI出力デコーダ
 最大16分割表示
 P/N ION-R100S
 希望小売価格 Call
 Genetec API ONVIF



HDMI/DP (via USB-C) 出力
 デコーダ P/NION-R200
 最大32分割表示
 希望小売価格Call
 Genetec API ONVIF



世界初の実装です。
 高精度温度センサー

FLIR C3 カメラソリューション
 USB接続で**設定温度アラーム**を Security Centerに通知します。
 希望小売価格 Call

Javatelなら貴方のやり方完全支援、諦めないでご相談ください。

ビジネスパートナー募集しています。



株式会社ジャバテル <https://javatel.co.jp>

Call 06-6354-0100 Fax 06-6136-1155 Mail to info@javatel.co.jp

フリーダイヤル 0120-961-891

IPVM URL: <https://ipvm.com/>

IPVMは、セキュリティと映像監視に関する世界有数の情報提供サイト。

【特徴】

- 5,000件超のセキュリティ技術に関する報告
- 550件超のセキュリティおよび主要映像監視製品のテスト
- 豊富なソフトウェア・ツールによる評価とテスト
- 映像監視関係者向け教育と講座用情報の提供。
- メンバーからのコメントを含めた活発なコミュニティの形成

【有料メンバー】

- 100カ国超1万人以上のセキュリティ業界従事者、関係者

【スタッフ】

- エンジニア、開発者、セキュリティ・システム構築者、サポート・マネージャなど総勢11名

【掲載許諾】

本誌ではIPVMの許諾を得て、ウェブ上で無料閲覧することができる内容だけを掲載しています。閲覧するにはIPVMとの有料メンバー契約が必要です。IPVMに掲載されている内容は、一切無断転載です。



ONVIF映像監視入門

IPVM チーム 著

<https://ipvm.com/reports/onvif-tutorial>

ONVIFは、IPカメラとVMSシステムを接続するためのインターフェイスとして監視業界ではよく知られている。ただし、新規ユーザは、下記のような質問で混乱を招く可能性がある。

- ONVIFが標準なのか?
- なぜONVIFなのか
- ONVIFの役割は?その構成は?
- 誰がONVIFをサポートしているのか?
- ONVIFプロファイルとは何か? S対G対Q対T
- ONVIFほどの程度うまく機能するのか?
- ONVIFはH.265対応か?
- 高度な機能は?



帯域幅と低照度をテストする

イーサン・エース 著

<https://ipvm.com/reports/testing-bandwidth-vs-low-light>

夜間の帯域幅の急上昇は、映像監視における大きな課題だ。多くの人は帯域幅を1日24時間365日として計算しているが、ビットレートは日ごとに劇的に変化する。

しかし、100%超? 500%超? 1,000%超? そこで、Avigilon社、アクシス社、Dahua社、Hanwhaテックウィン社、Hikvision社、Uniview社の6社のカメラをテストし、それぞれの平均性能、最悪と最良の性能、そして過去数年間の性能の向上を調べた。



アクセス・コントロール用ケーブルの集中解説

ブライアン・ローズ 著 2019年1月15日

<https://ipvm.com/reports/access-control-cabling-examined>

アクセス・コントロールはそのケーブルと同じくらい信頼性がある。この側面は他の部品の魅力を欠いているが、全てのシステムの重要な部分であることに違いは無い。

本稿では、22 / 4、18 / 6、22 / 2など、これらのシステムで使用されているケーブルの種類と、それらを設置するときに特に注意を払うべき場所について説明している。



IDIS SUPER FISHEYE

5MP コンパクト

コンパクトデザイン・スマートUXコントロール・スマートDewarping (歪み補正)・ヒートマップ (カメラ内蔵)

**SECURITY SHOW
2019**

JVCケンウッド公共・産業システムブース
にIDIS製品を出展します。

#SS7306

商品に関するお問い合わせは
IDIS Co.,Ltd 日本正規代理店 株式会社セキュア secureinc.co.jp

東京本社 | 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル 20F
TEL.03-6911-0660 FAX.03-6911-0664

IDIS
One Solution. One Company.

SÉCURE

www.idisglobal.com



英国のセキュリティ会社、違法なダイレクト・マーケティングで罰金刑を受ける

チャールズ・ロレット 著

<https://ipvm.com/reports/uk-fines-security>

英国の警備会社2社が、政府の不在リストに登録されている人々に違法に数十万件の電話をかけることに対して20万ドル以上の罰金を支払った。

IPVMによって明らかになった苦情によると、電話の中には、地元の犯罪波や設置費用が高い「無料」機器に関する疑わしい内容が含まれていた。本稿では、下記について調べている。

- 誰が罰金を科されたのか
- 苦情によりスパム、誤解を招く通話が明らかに
- 罰金総額
- 彼らはそれを乗り越えると思ったのか

- 政府と企業の反応
- アメリカの比較
- ホームセキュリティのダークな販売戦略
- GDPRとの脈絡

違法行為はGDPRの実施前に行われたため、この場合、新しい規制は何の役割も果たしていなかった。しかし、罰金はダイレクト・マーケティングの法的リスクと、GDPRの後に発生した違反に対するより厳しい政府の執行/罰金の可能性を思い出させるものだ。



アーカス社の売り上げ

ジョン・ホノヴィッチ 著

<https://ipvm.com/reports/turnover-arcules>

キヤノン社とマイルストーン社は、米国アーカス社に数千万ドルを投入しているが、これはVMS市場の将来への賭けだ。(IPVMアーカス社テスト・レポート

<https://ipvm.com/reports/arcules-vms-2018>を参照)。

しかし、アーカス社は直近の半年間で大きな売上高を記録している。この自称「大胆な」企業が正しい方向に向かっているのか、それともスピンアウト企業への多大な資金投入を急ぎすぎたのか?

IPVMは本稿で下記について調べた。

- アーカス社の売上高
- 会社での採用動向
- アーカス事業のスタートアップ
- アーカス社CEOの反応
- 最近採用した2人の幹部
- マイルストーン社にとってのリスク
- スピンアウトの難しさ
- 遠慮気味の楽観主義



Huawei社、Hikvision社とDahua社の両社の戦略は 廉価なカメラを提供するだけと断言

チャールズ・ロレット 著

<https://ipvm.com/reports/huawei-on-hikua>

IPVMは、ドバイで開催されたIntersec 2019の会場で、「独占的的人工知能スポンサー」であるHuawei社と話をした。Hikvision社社長は、Huawei社が数年以内に映像監視事業から撤退するとの見解を既に公に述べている。

一方Huawei社担当者は、同社がHikvisionとDahuaとの戦略は安価なカメラを提供するだけと述べた内容とは対照的だとIPVMに対して説明した。

このレポートで、IPVMはHuawei社がIPVMに対する発言を受けて、Huawei社のDahua社とHikvision社に対する距離感を分析し、対比する。



IPVMは、Huawei社中東地区インテリジェント映像監視担当副社長マーチン・ツァオ氏に質問した(写真中央)。

ジェイセキュリティ、革新的な技術で安心・安全な未来を提供

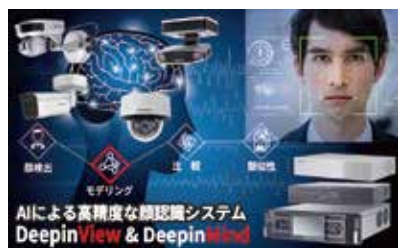
セキュリティ提供企業としてのミッション

映像監視システムに求められる要求は、社会が容認することができるモラルと確実性の高い安心と安全を提供する責任を兼ね備えているという要件を満たしていなければなりません。

ジェイセキュリティは、世界市場で評価を獲得している技術と製品をユーザのニーズに適応したセキュリティ・システムとして提供することを最優先のミッションと考えています。

ジェイセキュリティが提供する革新的な技術

■高精度な顔認証システム



Hikvision社顔認証システムは、顔認識端末にディープ・ラーニング・アルゴリズムを組み込み、伝送遅延を減らし、バックエンド・コンポーネント

の負荷を軽減しています。その結果、フェイス・キャプチャ率は、0.5秒未満で99%の精度に達するほどの高精度を誇ります。

一例を挙げると、Hikvision社顔認証システムは、通勤混雑時間帯に1分あたり最大40人を通過した人物の顔を0.5秒以内に認識することができます。

■超低照度でカラー映像を提供するColorVuテクノロジー



ColorVuテクノロジーは、超低照度条件下で24時間365日、明るいカラー映像を提供することを可能にします。0.0005ルクスという暗闇の条件、具体的には照明のない公共スペースや信号機の明かりだけの交差点などで、鮮明なカラー映像をキャプチャすることができます。

カラー情報は特に重要で、これは自動車事故の調査で特に顕

著となります。ナンバープレートが隠蔽されているか確認できない場合、車両の形状や車種そして車体カラーから調査することができます。そのため、高解像度とともにカラー情報が重要な手がかりとなります。

■AIによる誤警報防止と高精度の対象物検索を実現したAcuSenseテクノロジー



AcuSenseテクノロジーは、Hikvision社製ディープ・ラーニング・アルゴリズムに基づいています。ディープ・ラーニング・

アルゴリズムで機能学習を実行し、驚異的な精度の映像解析(VCA)を提供します。

さらに、AcuSenseテクノロジーは、映像データからあらゆる人間や車両の画像を抽出することができる強力かつスピーディな対象物検索機能を備えています。

ジェイセキュリティがめざす高信頼性

前述した優れたテクノロジーを最大限に活用するため、システム提供企業であるジェイセキュリティは、ユーザの要望を満たした高信頼性のシステム提供を最優先事項と考えています。

■システム開発環境の整備

ジェイセキュリティは、ユーザの様々な要望に応えるソリューションを提供するため、研究所を韓国に新設して、ソリューション・システムの開発に着手しました。近い将来、ユーザの要望に応えたソリューション・システムをご案内することができます。

■営業拠点の整備

●本社営業部門の強化

ジェイセキュリティの本社営業部門を移転しました。新拠点では主要製品を多数展示しています。

●営業拠点の拡充

2019年に大阪支店と東北支店を開設し、デモルームを設置した営業網を拡充しました。

- 本社 〒150-0053 東京都渋谷区代々木3-23-4 ユニゾ西新宿11F TEL:03-6205-5396 FAX:03-6205-5504
- 大阪支店 〒540-0027 大阪市中央区錦屋町1-4-2 名阪第3ビル5F TEL:06-4792-7140 FAX:06-6966-7301
- 東北支店 〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2-1-14 花京院ビル203 TEL:050-3561-7617 FAX:022-2901362
- 韓国研究所 76 Magokjoongang-Ro, #321 Hill state Eco Magok station, Gangseo-Gu, Seoul, 07801, Korea
- 配送センター 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-7-1 大久保フジビル601号
- URL <http://jsecurity.jp/>



Intersec 2019 展示会レポート

チャールズ・ロレット 著

<https://ipvm.com/reports/intersec-2019>

ドバイで開催されていたINTERSEC 2019が閉幕した。IPVMは3日間の会期中に、多数の中国および西側映像監視メーカにインタビューした。このレポートの中で、IPVMは下記について精査した。

- インフィノヴァ社「当社は米国企業だ」
- アクシス社のAIに関する表現、中東市場、Huawei社との競合
- マイルストーン社のコスト/複雑さに対する苦情、アーカス社との競争への対応
- ハンファ・テックウィン社の安全な解析、新しいSoC、「中国語以外」への対応
- Megvii社Face++ は独自のSkynetを持つ
- Pelco社は次のチャンス待つつ
- Genetec社のHuawei社対策
- ウェスタン・デジタル社とHikvision社
- Hikvision社はサイバー・セキュリティのプレゼンテーションを行なわず
- Huawei社AIでは髭はマスクになる
- IFSECでの大手企業の展示とメーカのマーケティング
- イスラム教国家への中国メーカの売上高に対する反イスラム教徒の新疆の取り締まりの影響
- Huawei社へのインタビュー 映像監視市場計画と、Dahua社とHikvision社に対する競争上の位置付け
- Dahua社「Heart of City」への取り組みの検証
- Dahua社AIのデモにまだ問題点あり
- Hikvision社ブースの様子



ニューヨーク市警察、サウス・チャイナ・モーニング・ポスト紙の誤報記事に反論

ジョン・ホノヴィッチ 著

<https://ipvm.com/reports/nypd-scmp>

Voice of Americaが報じたところによると、ニューヨーク市警察はサウス・チャイナ・モーニング・ポスト紙(SCMP)の掲載したHikvision社のお話を否定している。

2018年1月11日、SCMPはニューヨーク市警察がHikvision社

の顔認識をリバーパーク・タワーズで採用していたと主張した。IPVMがその数日後に報告および反論したように、これは明らかに誤報だった。



CES 2019展示会レポート

IPVMチーム 著

<https://ipvm.com/reports/ces-2019>

IPVMは2回目となるCES 2019レポートで興味深いニュースについて報告している。

このショーレポートには以下が含まれている。

- 展示会での主な発表内容
- 出展中国メーカ数の減少
- ビデオ・ドアベルの増殖
- Alexa、Google Assistant、Apple Siri / Homekitの統合
- 写真と解説記事



モバイル監視トレーラのガイド

IPVMチーム 著

<https://ipvm.com/reports/trailer-surveillance>

電力や通信がすぐに利用できない一時的な監視のためにカメラを設置することは、複雑で費用がかかる可能性がある。1つの成長しているニッチな市場はユーザが必要としている特定場所

にターンキー・システムを迅速に展開することを可能にするモバイル監視トレーラだ。



映像監視のためのNTP /ネットワーク・タイム・ガイド

IPVMチーム 著

<https://ipvm.com/reports/network-time-guide-for-video-surveillance>

不正確な時間は映像の欠落や不適切な表示に繋がる可能性があるが、このトピックは見落とされることが多く、カメラやサーバがデフォルトのままにされたり、異なるソースに同期されたり、まったく同期されなかったりしている。ただし、監視ネットワークに適切なタイムサーバを設定すると、時間や費用が少なくて済み、これらの潜在的に悲惨な問題を防止または軽減できる。本稿では、監視のためのネットワーク時間を確認し、次の主要トピックについて説明している。

- タイム・プロトコル:NTP、SNTP、Windows Time
- カメラによる時刻同期の処理方法 - 到着時とカメラのタイム・スタンプ時
- レコーダ/VMSによる時間同期
- タイム・サーバのオプション
- 同期する必要があるもの
- IPカメラと非IPカメラ



LPRのプレートスマート社略歴

ジーン・パットン 著

<https://ipvm.com/reports/platesmart-profile>

プレートスマート・テクノロジー社は、「従来の監視カメラをナンバープレート認識カメラに変える」と主張している。IPVMでは、彼らの活動と製品が他社のLPR製品とどう違うかを理解するために同社にインタビューした。本稿ではその内容を紹介している。

- プレートスマート社の概要
- 主要対象となる顧客は?
- 同社ソフトウェアの内容は?
- ソフトウェアの機能
- 価格
- 市場参入
- 競合製品との比較
- 今後の成長計画



監視用ケーブルの溝

ブライアン・ローズ 著

<https://ipvm.com/reports/cable-trenching-primer>

監視用のトレンチケーブルは驚くほど複雑だ。シャベル、ピック、フックを使用することは高度な技術ではないが、溝付きケーブル配線の適切な計画、構築、および実行について過小評価されている。本稿では、監視のためにケーブルを掘る上での最善策を調べている。

- サイト調査とトレンチ・ルート計画
- トレンチの深さとコード要件
- 一般的な監視ケーブル・トレンチの仕様丸
- トレンチ作成のための3つの一般的な方法
- 一般的なトレンチ費用



コースター社グループArecont社、レイオフを実行

ジョン・ホノヴィッチ 著

<https://ipvm.com/reports/av-layoffs>

本稿では、コースター社グループArecontビジョン社のIPVMへのフィードバックに基づき、Arecont社を買収してから半年後、そしてArecontの社長が辞任してからわずか数週間後、会社の見通しを分析する。

提供された声明
Arecontビジョン・コースター社は、IPVMからの問い合わせに応じて、従業員の10%以上にあたる12人を「削減」したことを認めた。



サウス・チャイナ・モーニング・ポスト誌が掲載した Hikvision社のニューヨーク市警AIに関する誤報記事

ジョン・ホノヴィッチ 著

<https://ipvm.com/reports/hikvision-scmp>

2019年1月14日先週、アジア最大の出版物の1つであるサウス・チャイナ・モーニング・ポスト紙(SCMP)が、ニューヨーク市警察で使用している「中国の顔認識技術」(すなわちHikvision社)についての記事を報道した。しかし、問題は物語が間違っていることだ。それにもかかわらず、物語は、中国の技術的優位性の兆候、そして米国の「最大の都市」への好ましくないHikvision社による中国の侵入という両方の観点から、国際的な注目を集めている。本稿では、SCMPの話を検証しながら説明している。

- 「Sky Net」AIの主張が誤っている理由
- 顔認識ソフトウェアの例が誤っている
- 住宅案件にHikvision社製品が選ばれた理由
- Hikvision社にとって厄介な敵であるGenetec社のシステムが、ニューヨーク市警察導入されている。
- Hikvision社製AIの問題点
- Hikvisionにとって望ましくない情報
- このSCMPIによる物語による影響



帯域幅とフレームレートをテストする

IPVMチーム 著

<https://ipvm.com/reports/bandwidth-vs-framerate-2019>

フレームレートを選択すると、監視の帯域幅とストレージの消費量に大きな影響がある。しかし、スマート・コーデックが一般的になり、カメラがこれまで以上に効率的になったため、「正しい」フレーム・レートはどのくらいになるのか？
本リポートでは、3つのメーカーの10台のカメラをテストし、

H.265とH.264を使用して、様々な複雑な場面でスマート・コーデックのオンとオフを切り替え、1~30 fpsのフレーム・レートをテストした。

IPVM内部では、監視フレームレートを最適化するための主な調査結果と2つの主な推奨事項を示している。



アクセス・コントロール記録のメンテナンス・ガイド

ブライアン・ローズ 著

<https://ipvm.com/reports/access-database-maintenance>

古いエントリを削除し、未使用の認証情報を無効にし、誰がどの認証情報を持っているかを更新することは、機器を動作可能にするのと同様にセキュリティを維持する上で重要だ。そうしないと、ドアを開放したままにしておくのと同じくらい危険だ。残念ながら、多忙を理由に見過ごされがちで、時に悲惨

な結果を招きく。本稿では、下記を精査する。

- カード会員管理の最良の方法
- 記録とデータベース・システムを管理する方法
- 予防的メンテナンスの利点
- ユーザ認証情報を再利用しない



HID、モバイル・クレデンシャル問題の解決用にOrigoを発表

ブライアン・ローズ 著

<https://ipvm.com/reports/hid-origo>

HIDは、モバイルクレデンシャルプラットフォームの見直しであるOrigoを発表した。今回は、価格とパッケージの方法を大幅に見直した。HIDのOrigoアプリは、モバイルIDポータルへの代わりとなるもので、HIDのReader Managerのような他のアクセ

ス管理ユーティリティを含む予定。

IPVMはHID Globalにこの製品についてインタビューし、内部でそれが何であるか、そしてモバイル・クレデンシャルにおける同社のポジションにどのような影響を与えるかを調べた。



Dahua 社とHikvision社製8MPアナログHDカメラのテスト

IPVMチーム 著

<https://ipvm.com/reports/hd-analog-8mp>

HDアナログは何年間も高解像度映像を提供してきたが、最近の数年間で劣勢に立っている。Dahua社とHikvision社が低価格8MPのHHアナログ製品の出荷を開始した。

下記の項目について、8MP CVIおよびTVIカメラとDVRを購入してテストし、低価格8MPカメラと比較した。

- 8MPモデルはプラグアンドプレイか?
- 目立った遅延や接続の問題はないか?
- 類似のIPモデルと比較して画質/低照度/WDRはどうか?
- 各DVRはHDアナログおよびIPカメラはCVI、TVI、AHD、ONVIFをサポートしているか?

- カメラの構造と物理的な特徴の違いは?
- DVRはONVIF経由でVMSと統合されているか?
- IPカメラと比較してビットレートはどうか?スマート・コーデックをサポートしているか?

テストしたカメラとレコーダは下記の通り

- Dahua社製A82AM52 8MP CVI dome camera
- Dahua社製 X74A3L2 16-Channel 8MP CVI DVR
- Hikvision社製DS-2CE78U8T-IT3 8MP TVI dome camera
- Hikvision社製DS-7208HUI-K2/P-2TB 8-Channel 8MP TVI DVR



アクセス・コントロールの設計ガイド

ブライアン・ローズ 著

<https://ipvm.com/reports/designing-an-access-control-system>

アクセス・コントロール・ソリューションを設計するには、8つの基本的な質問に対する対応が必要となる。

本設計ガイドは、優れたアクセス・コントロール・ソリューションを設計する際の条件とトレードオフを理解するのに役立つ。

8つの基本的な質問は下記の通り。

1. メリットを得るためのコストは?
2. 何を安全にするのか?
3. どのような認証形式といくつの認証が必要か?
4. どの種類の読取機を使用するか?

5. どのような種類のロックを使用しますか?
6. 読み取りと施錠以外でドアに必要なものは?
7. どのように読取機をネットワークに接続するか?
8. どのタイプのアクセス・コントロール管理システムを使用するか?

本リポートでは、キーベース・システムではなく、電子アクセス・コントロール・システム(カード、ピン、生体認証などを使用)の選択と設計に焦点を当てている。



Gorilla

AI提供企業ゴリラ・テクノロジー社、1500万ドルを調達

シーン・パットン 著

<https://ipvm.com/reports/gorilla-tech-profile>

Gorilla Technologyは台湾の映像解析メーカーで、最近SBIグループからの1500万ドルの投資受け入れを発表し、「先端AIのリーダーとしての地位を強化する」と述べている。

本リポートでは、ゴリラ・テクノロジー社との対話に基づいて、次のことを検証している。

- ゴリラテクノロジーの会社概要
- 具体的な映像解析機能
- ハードウェア要件
- 対応しているVMSとの統合
- 価格
- 販売チャネル構造
- 投資計画
- 市場参入
- 成長への挑戦



過去1年間にテストした中での最悪の製品

イーサン・エース 著

<https://ipvm.com/reports/worst-test-2019>

IPVMはこの1年間で100を超えるテストを実施した。ではどの製品が最悪だったのか？ユーザはどの製品に最も注意を払うべきか？

このレポートでは、IPVMは最悪の結果を出した13製品を選び、その理由と注意すべき点について説明している。IPVMテストへのリンクがある製品をメーカーのアルファベット順に列記する。

- 2GIG Gun Motion Detector
- Axis Z-Wave IP Camera
- Copper Clad Aluminum UTP (Cat 5e/6)
- Dahua 5MP Starlight Camera
- Dahua Face Recognition Camera
- Dahua Intrusion Analytics
- Google Clips AI Camera
- Hikvision DeepInMind Deep Learning NVR
- Hikvision Ezviz EzGuard
- Hikvision Value Express

- Hikvision Intrusion Analytics
- TVT TD-9482E2 4K Dome Camera
- Uniview Intrusion Analytics

基準

何が「最悪」であるかを判断するための当社の基準は、当社のテストでメーカーのマーケティング要求を満たすことができなかった製品に基づいている。デバイスがほとんど要求せず、ほとんど提供しない場合、それは素晴らしい製品ではないかもしれないが、知らないバイヤーでさえもそれを公正に評価することができる。メーカーが機能や性能の進歩を主張しているが、テスト時にそれらを提供できなかった場合に問題が起こる。それが私たちの最悪製品報告の肝だ。

本レポートでは、銃撃戦で最悪の性能を示した全製品に「最悪」の称号を与えている。ただし、特に古い製品やメーカーからの強い主張がない製品は含まれていない。



オーストリア初のGDPR罰金は映像監視

チャールズ・ロレット 著

<https://ipvm.com/reports/austria-gdpr-fine>

警察が公共の場を撮影している企業の監視カメラを見た場合、EUの企業は懸念すべきだろうか？これがオーストリア初のGDPRによる罰金であり、監視カメラで公共の場を撮影するため賭博場に課されたものだ。

この訴訟では、合計6,000ドル近くの罰金が科せられた。そのうちの幾つは、GDPR以外の違反によるものだった。それは上訴中であり最終的なものではない。それにもかかわらず、この事件はGDPR関連の罰金が最高額だったことから、GDPR時代にエンドユーザが直面するリスクの高まりに関する重要な例となる。

本稿では下記の項目を精査している。

- 彼らがどうやって捕まったのか
- 違反の疑い
- GDPRとGDPR以外の違反
- 罰金の計算方法
- GDPR罰金額が最高だった理由
- オーストリアの映像監視罰金の頻度
- 攻撃のタイミングと重大さ
- より広い意味



Dahua中国本社、大規模な雇用削減

IPVM チーム 著

<https://ipvm.com/reports/dahua-china-cut>

多数の情報筋によると、Dahua中国本社は過去数ヶ月でかなりの雇用者数を削減した。これは、最近の中国ハイテク企業の広範に見られ傾向だが、これまでの10年間のDahua社の積極的

な拡大からの大きな変化だ。

本レポートでは、同社の削減、元Huawei CEOだった人物が率先している同社の「家族」指向の構造から「企業」指向の構造へ

の移行に関するDahua社の課題、そしてこれらの動向が今後の同社の競争上の位置づけをどのように変えるかについて考察している。

雇用者削減の概要

IPVMが得た様々な情報筋によると、Dahua社の大幅な雇用者削減は、本質的に中国の映像監視メーカー間での公然の秘密らし

い。同社は、現在の自社Webサイトで従業員数を16,000人と表記している。しかし少なくとも数百人が削減され、一部では何千人もが削減されたという情報もある。中国国内メディアは雇用者削減について報道していないが、このニュースはオンラインで拡散している。

例えば、trickled online (e.g., this Chinese forum)を参照。



DAHUA社製インターカムをテスト

ブライアン・ローズ 著

<https://ipvm.com/reports/DAHUA社-intercom>

ビデオ・インターホン、映像監視メーカーが事業を拡大している成長市場だ。IPVMは一連のビデオインターコムテストを続けているが、今回ゼニテル社セントフォン・タービンおよびアクシス社2Nをテストに加えた。また、DAHUA社がIPカメラと同様にビデオ・インターホンでも低コスト品を提供することができるかを調査するため、同社製VTH1550CH、VTNS1060A、VTO1220BWを購入してテストし比較した。

調査項目は下記の通り。

- インターコムの長所と短所
- システム障害
- ノイズ・キャンセリングが問題にならない理由
- ライセンス特典
- システム全体のコストが予想より高くないか



アクセス・コントロールの回転式ドアのガイド

ブライアン・ローズ 著

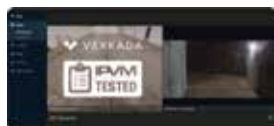
<https://ipvm.com/reports/turnstiles>

回転式ドアは、本質的に侵入者を物理的に止めるためのフェンスや壁またはバリケードの可動部分で、安全な場所への歩行者の通行を制御する。

しかし、不適切に使用されると見栄えが悪く、高価で、効果がなく、さらに危険な物体になる可能性がある。本稿では、一般的なタイプの歩行者用回転式ドアを調べ、それぞれのタイプの長所と短所を調べた。

- 背丈以上の高さ
- 胸周辺までの高さ
- 光学式
- ターンバックル式
- 回転式ドア

本稿では、必要な回転ドア数の計算方法、それらの準備、設置、およびメンテナンス方法についても説明している。



Verkada(ヴェルカダ)社クラウドVMSとカメラをテストする

ジーン・パットン 著

<https://ipvm.com/reports/verkada-vms-2019>

Verkada社はここ数年間で最も野心的な映像監視の創業となる。同社は、独自のカメラ、独自のVMS、独自のクラウド管理ソフトウェア、独自の映像解析を開発し、「現代の事業用途に構築された防犯カメラシステム」として説明している。

IPVMは同社製カメラとVMSライセンスを2セット購入した。本レポートでは同社製品の主な長所と主な弱点を検証した。

- ライブと再生のビデオ・ストリーミング性能

- カメラ設定機能
- 事業用途VMS機能のサポート
- セキュア遠隔接続オプション
- アラート/アラーム通知の能力
- サードパーティの統合サポート
- ソフトウェアおよびファームウェアのアップデート
- 価格



米上院議員、HIKVISION社とDAHUA社の両社を「中国共産党の操り人形」と呼び、制裁を要求

チャールズ・ロレット 著

<https://ipvm.com/reports/hikua-puppet>

社とDAHUA社の両社を「中国共産党と人民解放軍の操り人形」と公に呼び、中国政府に新疆地域での行動に関与しているとして制裁するよう求めた。

コットン議員の演説は、英国議員3人が、英国議会に対して新疆地域でのHIKVISION社の調査を求めた後、たった1週間後だった。さらに同氏は「両社の西洋市場での活動を否定する」制裁を求めた。

両社は新疆地区の監視事業で10億ドル以上の案件を獲得した

にもかかわらず、両社とも公式発表していない。中国政府が最大100万人の民間人を「再教育」キャンプに拘禁している件や侵略的な監視に関するニュースが急増しているため、中国政府に対する新疆に関する抗議が国際的に高まっている。

本稿では、HIKVISION社とDAHUA社両社に関する発言内容を調査している。

- 発言の詳細内容
- その他の注意事項
- コットン議員が中国を「悪の帝国」と呼んでいる
- HIKVISION社とDAHUA社への影響



2,000万ドルを調達し急伸するWyze(ワイズ)社は中国ブランドへの脅威

ジョン・ホノヴィッチ 著

<https://ipvm.com/reports/wyze-series-a>

価格20ドルの消費者向けIPカメラ市場を混乱させているシアトル・スタートアップ社は、2000万ドルの資金を調達した。(SEC

ファイルと同社プレスリリースより)

これは、急成長中の消費者向けセキュリティ市場で成功するために長年活動して来たDahua社やHikvision社またXiaomi社などの中国ブランドにとっては悪い知らせだ。本稿では、下記の項目について調査した。

- Wyze社が成功した理由
- 同社の成長率
- 市場での評価
- 事業拡張計画
- Dropcamとの比較
- Wyze社と中国ブランド
- Wyze社対Amazon社、Nest社、Ring社
- 競合中小企業や市場への影響
- Wyze社の抱えるリスク



マイルストーン社、エリート・パートナーからHIKVISION社を削除

ジョン・ホノヴィッチ 著

<https://ipvm.com/reports/milestone-hik-elite>

マイルストーン社は、中国政府の支配する巨大企業HIKVISION社をエリート・パートナーに加えてから3年足らずで削除した。

これは、世界の主なメディアや英国と米国の国会議員の間で、同社に対する批判が高まっている最中だった。

本稿では、下記について調査した。

- 今回の措置に対するマイルストーン社からの回答
- サイバーセキュリティとHIKVISION社の中国政府による統制との関係

- マイルストーン社でのHIKVISION社の立場
- エリート・パートナーの特典
- ジェネテック社によるHIKVISION社の追放とは対照的な措置
Genetec's expelling of HIKVISION社
- パートナーを成長させたいというHIKVISION社の願望
- HIKVISION社独自のCMS/VMSの導入推進
- HIKVISION社に与える影響



HIKVISION社の2018年売上高、70億米ドルを突破、成長は鈍化

チャールズ・ロレット 著

<https://ipvm.com/reports/hik-2018-financials>

HIKVISION社の年間売上高は2018年に初めて70億ドルを突破したが、成長は急激に減速した。

本稿では、下記の最新数値を分析する。

- 収益対成長
- アクシス社との比較
- 低成長の理由

全体として、この数字は、HIKVISION社が様々な分野で厳しい課題に直面していることを示しているものの、競合他社よりもはるかに大きい事業規模を維持している。

【増収減益】

2018年の年間売上高は73億ドルを超えたが、直近の四半期の成長率は12.9%で、2018年の四半期ごとの成長率は下記の通り

だった。

- 第1四半期 33%
- 第2四半期 22%
- 第3四半期 14.6%
- 第4四半期 12.9%

【成長率】

2018年の年間成長率は18.8%で、ここ数年で最も低い成長率となった。

- 2018年 18.8%
- 2017年 31%
- 2016年 26%
- 2015年 46%
- 2014年 60%



IPカメラの継続使用の傾向: メラキ社とヴェルカダ社編

IPVMチーム 著

<https://ipvm.com/reports/lock-in-meraki-verkada>

ほとんどすべての業務用IPカメラが、記録、分析、および管理のために様々なサードパーティと統合されているため、オープン・システムと相互運用性が映像監視システムの中核機能となっている。IPカメラ・メーカーがサードパーティとの統合を促進するために努力していることに加えて、ONVIFは11,000以上のデバイスが正式にONVIFに準拠した事実上の標準となっている。しかし、2つのシリコンバレー企業がその傾向に対抗している。

Meraki社とVerkada社製品を使用すると、月額料金を支払っている限り、IPカメラをいつでも好きなだけ使用できる。購入したIPカメラは単なるレンガになる。

しかし、両社はIPVMに対し、このモデルには説得力のある利点があると主張している。

本レポートでは、IP映像監視カメラ・サービスに制限されていることの長所と短所を調べている。



ワイド・ダイナミック・レンジ集中解説

IPVMチーム 著

<https://ipvm.com/reports/wdr-tutorial>

WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)を理解することは、厳しい条件下で高品質の画像を取り込むために不可欠だ。しかし、実際の規格がないと、どのメーカーもWDRを謳うことができ、実際の性能が低い場合でも多くの企業がWDRを要求しているため、経験豊富なユーザでも混乱を招く。

本入門篇では、これらの問題を取り上げて説明している。

- WDRの状態
- WDRとは何か?

- WDRの仕様の解釈
- WDRの測定
- のカメラWDRの課題
- WDRと解決策
- 正しいWDRの実装
- WDRに関する偽情報
- メーカー用語の混乱



マイルサイト社の会社概要

ダン・ジェリナス 著

<https://ipvm.com/reports/milesight-profile>

国際ブランドのビジネスを構築している中国企業のマイルサイト・テクノロジー社は、一連の販売パートナーシップを通じて徐々に地位を築いていると述べている。

さらに、同社は自社製品の品質と性能を強調しており、新しいソリューションで「技術を理解している」人々の間で採用が急速に拡大している。

この記事では、同社マイケル・スラック社長との話し合いに基づいて、次の点を公開している。

• 会社概要

- 市場戦略
- 売上高は2016年以来倍増
- 関税
- Hikvision社とDahua社の禁句
- 成長する技術スタッフ
- 新製品/ソリューション
- 価格
- 競争力のあるポジショニング
- 潜在的なハードル



ジェネテック社、1年以上も大幅な改定版の発表無し

ジーン・パットン 著

<https://ipvm.com/reports/genetec-no-update>

VMSの年間ライセンスは、映像監視業界では物議を醸している方法であり、その多くが彼らの必要性和価値に疑問を投げかけている。ただし、ジェネテック社のような業務向け提供業者は、ライブサポートもソフトウェア・アップデートも提供されていないため、これらを効果的に必要としている。

しかし、同社は2018年にメジャー・アップデートを発表せず、14か月以上前の最終リリースであるGenetec Security Center 5.7を提供している。

本稿では、この問題に関するジェネテック社からの回答と、非リリースが引き起こす潜在的な問題について調査する。



帯域幅と低照度との対決

IPVMチーム 著

<https://ipvm.com/reports/bw-low-light-shoot>

夜間の帯域幅の急上昇は、映像監視における大きな関心事だが、全ての製造元のカメラは同じように機能するだろうか？ 昼から夜まで一貫性のある製品があるのか？ メーカーのモデルは全て似ているのか？

これを確認するために、Avigilon社、アクシス社、ボッシュ社、

DAHUA社、Geovision社、Hanwha社、HIKVISION社、Uniview社、VIVOTEK社の9社総数50台以上のカメラをテストし、過去数年間で最高性能、性能向上があったのかをレポートする。過去数年間のレポートは下記を参照。

past several years.



バーズ・ブキャナン会議は、「奇妙な物語」もあったが、安全確保のための素晴らしい時間があった

ダン・ジェリナス 著

<https://ipvm.com/reports/barnes-buchanan-2019>

IPVMは同氏のプレゼンテーションに出席し、プレゼンテーション内容と論拠を検証した。



マイケル・バーズ氏は2019年のバーズ・ブキャナン会議で「奇妙な物語」が展開されていると述べた。しかし、その物語にもかかわらず、産業界としては「素晴らしい時間」だった。

バーズ氏は、業界の現状に関する3時間のプレゼンテーションを行い、5つの重要なテーマ(成長、構造、営業指標、脅威、および市場価値)について話した。



アクシス社IRマルチ・センサ・カメラP3717-PLEをテスト

ロブ・キルパトリック 著

<https://ipvm.com/reports/axis-p3717-ple>

アクシス社は、同社初のIRマルチ・センサ搭載P3717-PLEを発売した。これは、360度IR照明と柔軟な位置決めを記載した再配置可能なモデルで、第一世代のP3707-PEの大きな成約に
対処している。IPVMはP3717-PLEを購入しテストし、性能を確認した。

- 初代以来、照準/ポジショニングは向上したか?
- マルチ・センサの位置決めはどの程度柔軟か?
- 同社独自のマルチ・センサや競合他社製品とサイズの違いは?
- 低照度/IRおよび昼間の詳細を他社製品との比較では?

- IRの適用範囲は均等で、仕様を満たしているか?
- ビットレートは第1世代モデルと比較してどうか?
- Avigilon、Exacq、Genetec、Milestone、NxWitness(+ Hanwha/DW)などのVMSとの統合、そしてライセンスはいくつ対応しているか?

本レポートは、一連の新しい位置変更可能なマルチ・センサの2番目のテストである。読者はHanwhaテックウィン社製PNM-9000VQのIPVMテストを参照し、AvigilonのH4マルチ・センサのテストも参照していただきたい。



Hanwhaテックウィン社製小型マルチ・センサ搭載カメラPNM-9000VQをテスト

イーサン・エース 著

<https://ipvm.com/reports/hanwha-new-multi-imager>

Hanwhaテックウィン社初のマルチ・センサ搭載の再設置可能なカメラPNM-9081VQは、これまでに十分にテストされてきたが、30cm以上の幅があり、重量が4.5g超もある。今回第二世代製品PNM-9000VQが発表された。本製品は小型化とさらに柔軟なセンサ配置でこの問題を解決している。

PNM-9000VQの性能を確認するために、購入してテストした。テスト内容は下記の通り

- PNM-9000VQとHanwhaテックウィン社の従来モデルや競合他社のマルチ・センサとサイズの点でどう違うか?

- CMOセンサは簡単に配置でき、取り付けにどの程度柔軟性があるか?
- NM-9081モデルとは異なり、マルチ・センサは互いに密接に配置できるか?
- 低照度(~1ルクス)、暗い場面(~0.1ルクス)ではどのように機能するか?
- ビットレートは第1世代モデルと比較してどうか?
- VMSにどの程度うまく統合されていて、ライセンスはいくつ対応しているか?



アクセス・コントロール企業ウェイブリンクス社の会社情報

IPVMチーム 著

<https://ipvm.com/reports/wavelynx-access-profile>

デンバーを拠点とするウェイブリンクス社は、アクセス読取機の製造元としてはあまり知られていないが、Amag、Isonas (Allegion)、Brivo、Software House、Tycoなどの大手業界ブランドへのOEM製品だ。

同社ヒューゴ・ウェンドリング社長に話を聞いた内容を次のメモで見よう。

- 会社情報
- OEMのみの提供

- OEMパートナーシップ
- エトス読者
- LEAFアライアンス
- 競争力のあるポジショニング
- ライセンスのないネイティブHIDフォーマット
- ウェイブリンクス社 OSDPセキュア・チャンネルのサポート
- コントローラの即時計画がないこと





シスコ・メラキ社製クラウドVMS/カメラをテスト

ジーン・パットン 著

<https://ipvm.com/reports/meraki-vms-2019>

シスコ・メラキ社は、同社製カメラは「メラキの魔法を企業の映像セキュリティの世界にもたらす」と述べている。

会社によると、彼らのマジックは管理ダッシュボード、使いやすさと設定、アクセシビリティとネットワーク・セキュリティ、そして「これまでにない方法で物事をやること」だと言う。シスコ社は過去に失敗した映像監視での成功を目指している。

IPVMは2台のシスコ・メラキ社(MV12WE、MV72)とVMSライセンスを購入した、そしてこのレポートでは、シスコ・メラキ社製品の主な長所と主な弱点を調べた。

- ライブと再生のビデオ・ストリーミング性能
- カメラ設定機能
- エンタープライズVMS機能のサポート
- セキュアリモート接続オプション
- アラート/アラーム通知性能
- サードパーティの統合サポート
- ソフトウェアおよびファームウェアのアップデート
- 価格
- Verkada社製品との比較



HIKVISION社 PoCのHDTVI をテスト

イーザン・エース 著

<https://ipvm.com/reports/poc-tvi-tested>

発表から何年も遅れて、HIKVISION社のPoC HDTVIモデルがようやく出荷された。本製品は、1本のケーブルだけでPoEと同じくらい簡単にHDアナログのインストールを可能にすることを狙っている。しかし、ここ数年でIPカメラの価格が下がり、新世代のカメラが入手可能になったことで、TVIはIPに対抗できるのだろうか。同社製PoCカメラとDVRモデルを購入して、下記の項目についてテストした。

- PoCの機能は? プラグアンドプレイか?

- ケーブルの長さや品質はPoCへの影響
- PoCは画質に影響しますか? 非PoCカメラとの比較
- PoCカメラとIPモデルの違い

このテストに含まれるモデル:

- DS-2CE56H5T-IT3E固定レンズ5MP PoCタレット
- DS-2CE56H5T-IT3ZEバリアフォーカル5MP PoCタレット
- DS-7208HUI-K2 / P 8チャンネルPoC DVR
- DS-2CD2355FWD-I固定レンズ5MP IPタレット



Exacq社のクラウド・ストレージをテスト

ジーン・パットン 著

<https://ipvm.com/reports/exacq-cloud-drive>

クラウド映像企業スマートヴウ社を買収後1年も経たないうちに、Exacq社は「クラウド・ドライブ・ストレージ」製品を立ち上げた。VSaaS市場は、Exacq社のような多くの新しい競合他社や既存の企業が新しいクラウド・サービスを追加することで拡大している。

IPVMは、Exacq社クラウド・ドライブはどの程度うまく機能するのかについてテストした。本レポートでは、下記について調査

結果を発表する

- 機能と制限
- クラウド・ストリーミングの性能
- クライアント・インターフェイスの変更
- 設定
- 価格



「2019年映像監視産業ガイド」好評配布中

IPVMチーム 著

<https://ipvm.com/reports/guide-2019>



IoT機器調査及び利用者への注意喚起の取組「NOTICE」の実施

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01cyber01_02000001_00011.html

総務省および国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)は、インターネット・プロバイダと連携し、サイバー攻撃に悪用される恐れのあるIoT機器の調査および当該機器の利用者への注意喚起を行

う取り組み「NOTICE(National Operation Towards IoT Clean Environment)」を平成31年2月20日(水)から実施する。

NOTICEの実施概要

インターネット上のIoT機器に、容易に推測されるパスワードを入力することなどにより、サイバー攻撃に悪用される恐れのある機器を調査し、当該機器の情報をインターネット・プロバイダへ通知する。インターネット・プロバイダは、当該機器の利用者を特定し、注意喚起を実施する。

NOTICEサポートセンターは、利用者からの問合せに応じ、適切なセキュリティ対策を案内する。

上記調査は、IoT機器に設定されているパスワードが容易に推測されるもの(「password」や「123456」など)かどうかを確認するものであり、機器の内部に侵入したり、通信の秘密を侵害することはない。また、調査によって得られた情報については、総務大臣が認可したNICTの実実施計画に基づき、厳格な安全管理措置を講じることとしている。

総務大臣が認可したNICTの実実施計画に基づき、厳格な安全管理措置を講じることとしている。



NEC、デンマークのIT企業KMD社を買収

<https://www.asmag.com/showpost/27646.aspx?name=news>

NECは、デンマークのIT企業KMD ホールディング社の買収を発表した。NECは、世界で最大かつ最も経験豊富なプライベートエクイティ投資企業アバンテ・インタナショナル社から、約80億デンマーク・クローネ(約1,360億円)でKMD社を買収した。買収は2019年2月末までに完了する予定。

今回の買収により、NECは3年間の中期経営計画「中期経営計画2020」の成長エンジンとして位置付けられている同社グローバル・セーフティ事業を加速させ、水平展開型のサービス事業への移行を推進する。NECはまた、高度な生体認証および人工知能(AI)技術を利用して公安、デジタル政府、スマート交通

などの分野を開発することにより、事業領域を拡大している。これらの取り組みは、安全で、安全で、効率的で平等な都市の実現を支援する「NEC Safer Cities」計画で実施されている。

KMD社は、主にSaaS(サービスとしてのソフトウェア)製品など、継続的に収益を継続的に生み出すビジネス・モデルを通じてデンマークでソフトウェアおよびITサービスを提供している。具体的には、同社は中央政府機関および地方自治体などに強力な顧客基盤を持ち、国連部門が発表した「国連E-政府調査2018」の最上位国であるデンマークのデジタル化をサポートするための様々なソフトウェアを有している。



OpTecs、CHeKT社のビジュアル検証技術と提携

<https://www.asmag.com/showpost/27692.aspx?name=news>

OpTecsはCHeKT社との提携を発表した。CHeKT社は警報監視室用の視覚監視プラットフォームを提供している。OpTecsは、この提携によりセキュリティ・システム構築者の保護機能を世界的に著しく向上させることができる。

このソリューションは、CHeKT社により発売された製品「The CHeKT Bridge」に基づいている。長年開発期間を経て、CHeKT Bridgeは2018年4月にISC West見本市で初公開された。CHeKT社の製品理念は、セキュリティ・システム構築者が従来の侵入警報と競合する価格で視覚的監視サービスを提供

することだ。

OpTecsは、現在の販売流通チャンネルを通じて、北米のCHeKT Bridgeとの間で既存および新製品を共同販売する。製品価格は明らかにされていないが、両社は、ビジュアル・モニタリング・ソリューションは、手頃な価格、拡張性、そして適応性がなければならないと認識している。セキュリティ・システム構築者が既存の警報システムと競争力を保ち、エンドユーザーにはるかに高いレベルのサービスを提供することを可能にするコストでCHeKTブリッジを提供することに期待している。



ジョンソンコントロールズ、920MHz帯無線ネットワークで センサとビル・オートメーション・システムのワイヤレス接続を実現

https://www.johnsoncontrols.com/ja_jp/media-center/news/press-releases/2019/01/31/gateway

ジョンソンコントロールズは、業界で初めて920MHz帯無線ネットワークを採用し、温湿度などの環境情報を計測するワイヤレス・センサと中央監視システムとの無線接続を実現する「ゲートウェイ」を開発し、これを活用したワイヤレス・ソリューションを2019年2月より提供開始する。

「ゲートウェイ」は、セイコーインスツルと共同で開発した業界初のオープンな通信プロトコルであるBACnet MS/TPへの接続を実現した。これによってワイヤレス・センサで収集した情報をBAシステムへ取り込み、エネルギーのきめ細やかな見える化を可能にする。

920MHz帯無線ネットワークは電波の回り込みに優れているため電波到達性が高く、障害物があっても安定した通信ができることから、つながりやすい通信環境を実現しながら、屋外ではWi-Fiの3倍、室内環境においてはWi-Fiの2倍にあたる30mの

通信を可能にした。

従来はセンサとBAシステムを接続するためには、シーケンサや電気、ガス、水道などを監視するためのリモート盤などの設置が必要だった。ワイヤレス・ソリューションを活用することで、複雑な配線工事が不要となり、省施工・省スペース化が可能となる。また、温湿度センサやCO2センサ、照度、電力計量などのさまざまなワイヤレス・センサをシームレスに接続することが可能となり、これまでよりも詳細なデータを収集することで、ビッグデータを活用した快適環境の実現と省エネ施策の立案にも貢献する。レイアウト変更や増改築にもフレキシブルに対応できるため、低コストで高効率なスマートビルを実現する。

今回使用するワイヤレス・センサは、長寿命の電池式の採用によりメンテナンスの手間も軽減される。



フリーア・システムズ社、エリオン社を2億ドルで買収

<https://www.asmag.com/showpost/27794.aspx?name=news>

フリーア・システムズ社は、世界の軍用や公安および重要基盤設備市場向けの高性能無人航空機システム(UAS)の開発企業エリオン社を2億ドルで買収したと発表した。エリオン社の垂直離着陸用クワッド・ヘリコプターは、FLIRサーマル技術を含む複数のセンサを統合して、ユーザに即時に高解像度情報や監視および偵察(ISR)機能を提供する。

カナダのウォータールーに拠点を置き、デンバーとソルトレイク・シティにオフィスを構えるエリオン社は、2007年に設立され、

20ポンド未満の航空機を中心に構築されたミッション1を重視したグループ1 UASソリューションの大手設計製造企業。エリオン社製UASファミリーは、米国国防総省を含む世界30カ国以上の20の軍隊で採用されている。同社は、ハードウェア、組み込みソフトウェア、地上管制ステーション、センサ、飛行操作ソフトウェア、そして世界中の顧客向けのサポート・サービスを含むUASソリューションを開発し提供している。



アッサ・アブロイ社、米国キーパー・システムズ社を買収

<https://www.asmag.com/showpost/27700.aspx?name=news>

アッサ・アブロイ社は、米国の電子および機械式キー管理システムの提供企業キーパー・システムズ社を買収する契約を締結した。キーパー・システムズ社は、1993年設立でノースカロライナ州ハリスバーグにある本社を構えている。鍵および資産管理の世界的先導企業であるTRAKA社の独立事業部門である。

今後はアッサ・アブロイ社国際ソリューションの事業部門となる予定。

キーパー・システムズ社製品とその専門知識、特に米国の自動車および不動産管理市場分野での専門知識は、Traka社の広範な製品と、鍵および資産管理ソリューションにおけるスペシャリスト・ソリューションをグローバルに補完している。今回の買収により、Traka社取締役ジャスティン・サッセ氏は、同社技術を活用して既存の顧客に対するキーパー・システムズ社製品をさらに発展させ、全ての市場分野でTraka社製品の販売が世界規模で拡大することが可能になると述べている。



Dahua 社、Eco-Savvy 3.0カメラで DIPPパートナーIvideon社クラウド・システムと統合

<https://www.asmag.com/showpost/27751.aspx?name=news>

Dahua社は、自社製Eco3.0対応カメラとDIPP(Dahua 社統合パートナー・プログラム)の戦略的メンバーのイタリアIvideon社製クラウド映像監視および映像解析提供企業との統合を発表した。

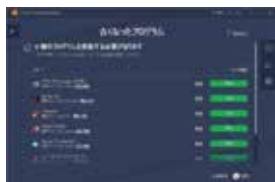
Dahua社Eco-Savvy 3.0ファミリーは、リアルタイムの高解像度、H.265圧縮、およびスマート検出機能を備えた多様なアプリケーションの要求を満たす幅広いモデルを揃えている。長距離伝送用のDahua社製ePoE(拡張Power over Ethernet)技術と共に、革新性と品質の間で優れたバランスを必要とするユーザに、費用対効果の高い選択肢を提供する。NVRなDVRまたはサーバを使用せずに、世界中のどこからでも、Dahua Eco-savvy 3.0

対応の全てのカメラをインターネット対応機器(PC、Mac、Linux、Web、iOS、Android)経由でクラウドに接続できる。

今回の統合は、DIPPでの戦略的合意に署名後の両社による共同事業である。DIPPは、より幅広い顧客とエンドユーザを対象としたサードパーティ・パートナーとの包括的で統合されたソリューションの作成に重点を置いており、詳細なマーケティング、プロジェクトおよびテクニカル・サポートを含む技術面およびビジネス面でパートナー企業に利益をもたらす。

詳細については、DIPPウェブサイトを参照。

<https://dipp.dahuasecurity.com/>



Avast、「Avast Cleanup」最新版を提供開始

<https://support.avast.com/ja-jp/article/Install-Cleanup-Premium>

AVAST社は、PC最適化ツール「Avast Cleanup」の最新版を

発表した。「Avast Cleanup」最新版は、ソフトウェアの自動更新機能および自動メンテナンス機能が追加されており、世界で最も頻繁にインストールされているサードパーティのPCソフトウェアを最新の状態に維持しつつ、機器の性能に悪影響を及ぼす可能性のある重要なエラーを検知し、リソースを消費するソフトウェアを停止することができる。

ソフトウェア自動更新機能

本機能により、VLC Media PlayerやSkypeなど、特に人気の高いソフトウェアを自動更新する。ソフトウェア自動更新機能は、インストール済みソフトウェアのアップデートを定期的に確認し、

ユーザの操作を邪魔することなく最新版にアップデートする。ユーザは、手動でアップデートを管理することも可能。さらに、新機能によってセキュリティ問題やバグの可能性を軽減し、ユーザは最新のセキュリティ・パッチやソフトウェア本来の機能をすべて利用することができる。

自動メンテナンス機能

今回発表したAvast Cleanupには、一週間に一度、自動でPCをメンテナンスする機能も搭載されている。本機能により、壊れたショートカットやシステム上の不要ファイル、ブラウザのキャッシュ・アイテム、トラッキングCookie、その他の履歴ログなどをシームレスかつ安全に除去し、PCを最適な状態に保つ。



レイテック社とウェイブストーン社、照明環境とVMSで統合

<https://www.asmag.com/showpost/27775.aspx?name=news>

ウェイブストーン社は、同社製オープン・プラットフォームのVMS(ビ

デオ管理ソフトウェア)とレイテック社照明ソリューションと統合したと発表した。この統合により、オペレータがウェイブストーン社のフロントエンド「1画面、トータルコントロール」の表示現場のセキュリティ要件を満たすことができる。

両社の技術チームは、完全にカスタマイズ可能なボタンをクリック

するだけでウェイブストーン社製VMSを介して制御できるインテリジェント照明ソリューションを開発してきた。このソリューションでは、移動体が検出時やアクセス・コントロール、NPR、アラーム・センサ、カメラや顔認識などの映像システムやソフトウェアからのメタデータ・トリガ・イベントの映像解析により、各状況に最適な照明を自動的に選択できる。



Symantec

シマンテック、最も危険なサイバー脅威を阻止する 高度なEDRツールと全面的マネージド・サービスを発表

<https://www.symantec.com/services/cyber-security-services/managed-endpoint-detection-and-response-service>

<https://www.symantec.com/ja/jp/products/endpoint-detection-and-response>

シマンテックは、「Managed Endpoint Detection and Response (MEDR)」サービスと、「EDR 4.0」テクノロジーの強化を発表した。これらは、AI主導型のアナリティクスと自動化を活用し、攻撃の発見とインシデントレスポンスを向上させることで、高度なサイバー攻撃を素早く発見し阻止する。

「MEDR」は、ステルス性の高い攻撃を検知し、疑わしい動作を巧みに調査することで、インシデントの迅速な分析と対応を実現する。シマンテックのSOCテクノロジー・プラットフォーム、

「EDR 4.0」、そしてGlobal Intelligent Network、3つの強力な組み合わせが、24時間365日体制の監視サービスを提供する。スレッドハンティング、遠隔詳細分析、エンド・ポイント封じ込めにより、攻撃者より一歩先んじることができる。

「EDR 4.0」は、シマンテックの精鋭研究者チームと1億7,500万のエンド・ポイントからのグローバルなテレメトリから得た脅威研究を活用してAI主導型の検知エンジンを絶えず更新し、アナリティクスの訓練を行うことで、新たな攻撃パターンを検知する。



大阪府警察が全交番にカメラを設置

報道各社によると、大阪府警察が大阪府内で600カ所ある交番全てに、内部の事務室を写す防犯カメラを設置する方針を固めた。府警では現在、交番内を写すカメラは常設していないが、日本各地の交番で警察官が襲われる事件が相次いだことから同様の事件を防ぐため、全交番にカメラを整備する必要があると判断した。

府警によると、拾得物の届け出や犯罪被害の申告のため、市民が訪れる交番は府内で600カ所。これに、主要駅にある鉄道警察隊の4つの分駐所を加えた計604カ所に、2019年度中にカメラを整備する方針。

来訪者に対応する事務室の様子を24時間態勢で記録する。費用は約6,820万円で、2019年度予算で要求する。



イーグルアイネットワークス、日本法人本社を移転

クラウド映像監視システムを提供しているイーグルアイネットワークスは、日本市場への本格参入を開始した。同社では今回の新オフィス移転に伴い、セールス部門、セールス・エンジニアリング部門、マーケティング部門、カスタマー・サポート部門、研究開発部門を立ち上げる。さらに、新オフィスにはセミナー・ルームを開設し、パートナーへの支援活動も行なう。年内の早い時期に10人程度の規模まで拡大する計画。

日本法人の新オフィスは、日本国内のセールスとサポート・サービスの提供にとどまらず、アジア太平洋地域全体の本部としての機能も兼ね備える。

それに先立ち、イーグルアイネットワークスは、1月18日東京渋谷において、既存の販売パートナーおよび販売パートナー希望企業を対象に、同社初となるセミナーを開催した。会場には50名を超える出席者が参加して、AIとクラウドそしてサイバー

セキュリティに対する関心の高さが窺えた。セミナーでは、ディーン・ドラコ社長が「映像監視の未来AI クラウドとサイバーセキュリティ」と題して講演を行なった。その内容は次の通りだった。

- 1) 映像監視の未来について
- 2) 映像監視におけるコスト削減と安全強化のための現在および将来のAI 活用について
- 3) 映像監視システムに対するサイバーセキュリティのIoT 脅威について
- 4) なぜ映像監視においてクラウドが当たり前になっていくのか。そしてどのように活用すればよいのか?
- 5) 同社がクラウド映像監視の日本国内市場を重視し強化している理由

■新オフィス所在地

〒150-0032 東京都渋谷区代官山8-5 代官山8.5ビル4階

TEL・03-6868-5527 URL・<https://www.een.com/ja>

パナソニック、i-PRO EXTREME (アイプロ エクストリーム) シリーズ 赤外線照明搭載PTZネットワークカメラ 2機種を発表

本製品は、赤外線照明搭載屋外型PTZネットワークカメラ WV-X6533LNJと WV-XS6532LNJ。



■主な特長

1. 光学40倍ズームと350m先まで照射可能な赤外線照明(LED)を搭載(WV-X6533LNJ)

昼夜を問わず、遠く離れた被写体を正確に捉えることができます。また、可視光カットフィルタを搭載することで、昼間と遜色なく被写体に焦点を合わせやすくなりました。

2. ズーム揺れ補正(WV-X6533LNJ)

高度な揺れ補正機能により、高倍率ズーム使用時も揺れによる映像への影響を大幅に削減。

ジャイロだけでは検出できない細かな揺れを、画像ベクトル検出の併用で高精度に補正し、映像への影響を最小限にとどめ、安定した監視映像を提供。

3. 雨天などの気象条件でも鮮明な映像を実現するアドバンスド

親水コーティング

アドバンスド親水コートによって、雨が当たっても、粒状になって付着しないようにすることで、クリアな視界を実現。さらに、レンズカバー表面に汚れが付きにくく、雨水が当たることで表面の汚れを洗い流す効果もあり、メンテナンスにかかる手間やコストを削減することも可能。

4. ネットワーク負荷の軽減と録画時間を延長するH.265とスマート・コーディングによるデータ高圧縮

5. 変化する周辺環境に合わせて最適のパラメータを自動設定iA (インテリジェント オート)機能

6. 「データ・セキュリティ、高信頼性」・認証局が承認したデバイス証明書をカメラに標準搭載

7. 高耐久性を実現するギア・ドライブ式パン/チルト機構の採用

8. カメラ設定が可能な「かんたんキッキング梱包」を採用

9. 屋外の風雨が直接当たる場所にも設置可能なIP66対応

■価格と発売時期

両製品ともオープン価格で、発売時期は2019年7月予定。

パナソニック、i-PRO EXTREME (アイプロ エクストリーム) シリーズ 4Kネットワークカメラ 2機種を発表

本製品は、4K屋外ボックス型ネットワークカメラWV-S1570LNJと4K屋外ドーム型ネットワークカメラWV-S2570LNJ。

■主な特長

1. 広範囲を鮮明に撮影する4K対応の高精度レンズと大型イメージ・センサーを搭載

4Kカメラは、フルHDカメラの4倍の解像度により、細部まで鮮明に撮影することが可能。また、本製品に使用している高精度レンズは、中心から端まで均一に高解像度の画像を提供することができる。1台のカメラで広い範囲の効果的な監視が可能になり、設置カメラの総数を減らすことができる。これにより、カメラの設置時間と保守点検費用を削減。

2. 低ビットレート高画質ストリームを実現するスマート・コーディング技術搭載のH.265エンジン

H.265圧縮方式に対応し、スマート・コーディング技術と組み合わせることで、4Kの高解像度映像でも、従来のH.264圧縮方式に比べてネットワークへの負荷や記録費用を半減。

3. 低照度環境下で被写体をカラー映像で捉えることが可能

カラー・ナイト・ビジョン技術の搭載により、夜間の屋外など



低照度の場所でも、カラーで視認性の高い撮影が可能。さらに、赤外線照明の内蔵により、ゼロルクス環境下の場所でも最大40m先の被写体を撮影することができる。

4. 変化する周辺環境に合わせて最適のパラメータを自動設定iA (インテリジェント オート)機能

5. セキュア性を向上させる暗号通信、改ざん検知機能の搭載

6. 雨天などの気象条件でも鮮明な映像を実現するアドバンスド親水コート

7. カメラ設定が可能な「かんたんキッキング梱包」を採用

8. 屋外の風雨が直接当たる場所にも設置可能なIP66対応

■価格と発売時期

両製品ともオープン価格で、発売時期は2019年7月予定。

HIDグローバル、世界最速のIDカード再転写プリンタを発表

今回発表した製品はHID FARGO HDP6600プリンタで、高速印刷、立ち上がりの速さ、省エネルギー化を実現した。さらに、ハードウェアの高信頼性と鮮明で高品位な印刷も可能にした。



HIDグローバルAPAC担当取締役ウェイ・ジン・リー氏(右)と日本地区セキュア・インシュランス担当営業マネージャ船橋正樹氏(左)

■主な特長

●高速印刷

- ・毎時230枚の印刷が可能。
- ・特許出願中のiON™「instant on(瞬時にオン)」技術と他の最新技術を組み合わせてフィルム印刷とカード再転写のプロセスを同時に行うことができる

●立ち上がりの速さ

最速のスループットを実現して、最初のカードの印刷待ち時間を最短にするよう設計

●省エネルギー化

- ・無駄のないラミネート技術を活用することで、大量のラミネート材質コストを最大40%削減
- ・転写ローラーを継続的な加熱が不要、使用電力量を低減し、印刷の確実性を向上させる
- ・環境保全に貢献する製品やサービスが対象となる「グリーン・サークル」の認定を取得

●高信頼性

- ・カード通路やフィルムとリボンの引き出し部品へのアクセスや保守をしやすいよう設計
- ・堅牢な設計と苛酷な耐久試験を実施

●鮮明で高品位な印刷

印刷解像度が600dpiで、読みやすいテキスト、くっきりしたバーコード、より鮮やかな色の印刷を実現

●許容標準カード・サイズ・CR-80(85.6mm x 54mm)

●許容カード厚・0.762mm~1.01mm

●両面印刷可能

■印刷方法

HID FARGO HDP6600プリンタでカード印刷する方法は、従来通りPCからの印刷だけでなく、クラウドを利用した印刷も可能で、これによりデータの機密性を確保することができる。

■非接触型スマートカードの世界市場

調査会社テックナビオ社によると、市場規模は2015年20.6億米ドルから2020年には85.5億ドルにまで成長すると見込まれている。また地域別市場は、APAC(アジア太平洋)および欧州が主要で、主な用途は、コスト面と使い勝手を優先する入退管理をはじめとするアクセス・コントロールよりも、資格や発行管理と運営が厳格な主眼とする公的機関によるカード発行が最も大きい。

■日本市場での展開

日本では交通系カードなどを中心にFeliCaが最も普及しているが、マイナンバーカード(個人番号カード)でHID製品が採用されている。その他金融や保険そして医療機関、学生証や社員証など、コスト面よりも不正偽造やコピー対策が重視される市場で普及している。

HIDグローバルでは、カード当たりコストの低いプロ向けソリューション、購入後に簡単にアップデートが可能でネットワーク対応したモジュラー形式のソリューション、データ・セキュリティなど、市場の要求に応える製品提供を積極的に進める考えだ。

■URL・<https://www.hidglobal.jp/products/card-printers/fargo/hdp6600>

IDIS社製5MPコンパクト・フィッシュアイカメラ



DC-Y6513RX

■主な特長

- Direct IP NVRによる簡単なインストール
- 5MP(2560×2048)の解像度
- 焦点距離・1.5mm

- micro SD/SDHC/SDXC(最大128GB)
- 双方向オーディオ
- アラームイン/アウト
- PoE(IEEE 802.3afクラス3)、DC 12V
- デイ/ナイト機能(IRカット・フィルタ)
- トゥルー・ワイド・ダイナミック・レンジ(WDR)
- IR LED・距離:15m / 49.2ft
- 多彩な表示構成
6つのドゥワーピング(Dewarping:歪み補正)ビュー・モードに対応
- ONVIFをサポート

■問い合わせ先

株式会社セキュア

URL・<http://www.secureinc.co.jp>

TEL・03-6911-0660

エアロセンス、産業用ドローンAEROBO®「AS-MC03-T」を開発



エアロセンスは、飛行性能を上げ可搬性を増強した産業用ドローンAS-MC03-Tを発売した。本機はAS-MC03シリーズの特長である自社開発フライト・コントローラの採用をはじめ、自社開発制御ハードウェア&ソフトウェアや、国内工場での製造と品質・保守体制をベースにこれまで培ってきた知見とノウハウを生かした独自技術を多数搭載している。

■主な特長

- ソニー製2000万画素レンズ・スタイル・カメラUMC-R10Cを標準装備
- 自律飛行性と充実したフェールセーフ機能
- 機体サイズと推進系の最適化し、可搬重量を700gから3kgまで高めた
- フリーシステムズ社製センサの搭載が可能

■応用例 映像伝送

災害調査・捜索・上空監視などの用途に向け、遠隔リアルタイム画像伝送に対応したカスタマイズ・オプションを用意。

- 4K/高感度フルHDの光学20倍ズームカメラ + BLDCジンバル
- カメラを高感度フルHDの30倍ズームカメラに切り替えれば、低照度環境での鮮明な空撮画像を取り込むことが可能。
- 自社開発の専用BLDCモータを用いたジンバル搭載でのIRセンサを採用

■価格・納期・AEROBO®「AS-MC03-T」

・本体 1,800,000円 2019年2月より

■URL・<http://www.aerosense.co.jp/>

スマートホームとビルにおけるLoRa導入の牽引力

LoRa(Long Rangeの略)は、低消費電力の新しい標準と考えられている。IoT分野での低消費電力ワイドエリア・ネットワーク(LPWAN)技術は、その長距離通信、バッテリー寿命の延長、ネットワーク容量、および低コストに起因している。LoRaWANネットワーク・プロトコルは、ワイヤレス・バッテリー駆動の先端機器などの低電力アプリケーション向けに設計されている。

●a&s編集チーム

調査会社ベルク・インサイト社によると、LoRaはIoT機器の国際接続プラットフォームとして勢いを増している。この調査会社は、2017年から2023年までの間の年間出荷量が31.6%のCAGR(年平均成長率)で8,910万台に達すると予測している。また、IHS マーキッツ社の調査報告書によると、LoRaはLPWAプライベート・ネットワーク導入を主導している。

同報告書では、LoRaは主にその先行してのリード、多様なアプリケーション、広範な地域展開などの成果で、今後数年間第一人者としての地位を維持することと見られている。

具体的な数字で示すと、2018年には5,700万台、2022年には3億5000万台を超えると予測されている。つまりLoRaは「LPWANのWi-Fi」と考えられている。事実上の唯一の選択肢であるLoRaは、低消費電力の新たな標準と見なされている。

この技術は、スマートメータ、農業、駐車場、照明、資産追跡など幅広い産業用途で採用されている。建築向けと家庭向け用途は今後の新興分野と考えられている。

ABI リサーチ社技術市場先見支援部門主席アナリスのアダルシュ・クリシュナン氏は、「特にスマートホームとビルディング自動化ソリューションを中心とした個別市場ソリューション開発の初期段階で確認している」と述べている。事実、インテリジェント・ビル管理システムが市場で注目を集め始めている。これらのア



アプリケーションは、環境を感知して長期間にわたってデータを収集するために多くのセンサを必要としている。そのため、LoRaは短期間でしかも予測可能な投資収益率(ROI)を提供することができる。



LoRa技術を最初に展開し、LoRa 連合の創設メンバーでスマートホームおよびビルディングの提供企業であるセムテック社は、世界各地でLoRaWANの成長過程を見てきた。「欧州や豪州そして米国の通信事業者が利用できる優れた導入方法と、ラ

イセンス不要のスペクトルを使用したプライベート・ネットワークを構築するLoRaWANは、ユーザが迅速にサービスを展開できる」とセムテック社ワイヤレス製品市場戦略責任者デイヴィド・アーマー氏は、a&s編集者によるインタビュー時に説明している。

相互運用性と柔軟性

LoRaは、ハードウェア企業、システム構築者、IoTソリューション提供企業そして電気通信サービス提供企業の強力なエコシステムを備えた、重要な非セルラーLPWAN技術の1つだ。複数企業製品を統合するための柔軟性が企業に提供されるこの技術は近年急速に成長している。

IoTソリューション提供企業であり、LoRa 連合のメンバーであり、LoRaWANのアンバサダー、イレブンX社COOであるライアン・ヒクリイ氏は、雑誌との以前のインタビューで次のように述べている。「全ての機器メーカ、ネットワーク機器メーカ、およびソフトウェア開発者が、相互運用可能な技術を開発できるように、このオープン・エコシステムを提供するという同じ目標に向かって取り組んでいる」。

全てのLoRaWAN機器は同じ言語で相互に通信している。「同



イレブンX社COO兼
LoRaWANアンバサダーの
ライアン・ヒクリイ氏



セムテック社
ワイヤレス製品市場戦略責任者
デイヴィッド・アーマー氏

じオープン・スタンダードに従って、全てのLoRaWAN準拠機器とネットワーク・ソフトウェアはエコシステム内で相互運用できる」とヒクリイ氏は付け加えている。相互運用性は、あらゆるIoT機器を導入するための重要な要素だ。

この仕様は技術的な実装を定義しているが、どのタイプの配置も厳密には定義していないため、個々の要求に応じてLoRaWANを使用する自由を業界参入企業に提供している。

ソリューションを調整する柔軟性は、革新性のもう1つの基盤であることがわかる。「Netvox社による独自のハイブリッドIoTシステムは、LoRaとZigbeeの長所を兼ね備えている。幅広い屋外環境とスマートホームの通信を克服することができる」とNetvoxテクノロジー社副社長ケント・シェン氏は、前回の記事中で話している。

メリットと課題

IEEE 802.15.4ベースのメッシュ・ネットワーク、PLC、その他のライセンスを取得したLPWAネットワーク・ソリューションなど、他の競合するネットワーク技術と比較して、LoRaWANはネットワークの総所有コスト(TCO)が低いと、有利となっている。クリシュナン氏は、LoRaWANはネットワーク基盤の展開と保守のコストが最も低いと述べている。具体的には「高いリンク・バジェットと長距離のLoRaWANにより、ネットワークの展開が簡単になり、必要な中継器とゲートウェイを減らすことができる」と指摘している。

LoRaは屋内への浸透がよく、1つのゲートウェイで建物全体、地下駐車場、および周囲の屋外区域を網羅することができる。また、ほとんどの無線機器と同様に、LoRaはバッテリー駆動のLoRa機器が電源配線を必要としないという点で簡単に設置できる。

あらゆる新興技術市場と同様に、LPWAネットワーク技術の採用には厳しい課題がある。クリシュナン氏は「セルラー標準化団体はLTE-MとNB-IoTをセルラーLPWA標準として批准してい

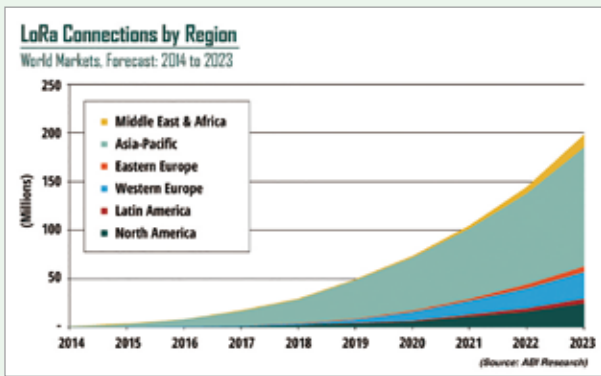
LoRaWAN機器の分類

幅広いアプリケーションの要求に対応するように設計された3つの異なるクラス別製品がある。

クラスAは、待ち時間の制約がないバッテリー駆動のセンサを指し、最もエネルギー効率の高い通信クラスを提供する。長寿命の電池式センサはこのタイプに含まれる。クラスBはビーコンと同期したスロット通信をサポートし、機器はスケジュールされたスロットで受信ウィンドウを開く。

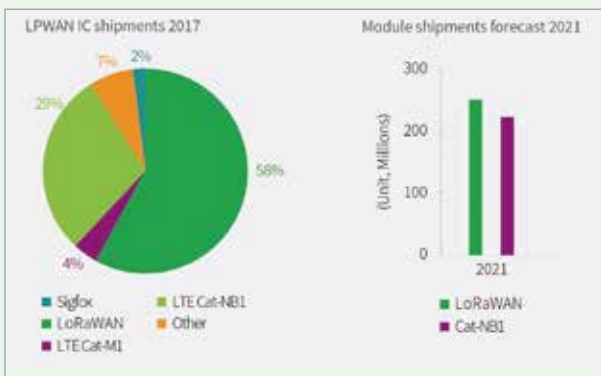
クラスCは、ダウンリンク通信を低遅延で継続的に待機する商用電源装置を指す。クラスC機器は常にコマンドを待機させて、電源に接続されている。

前述したイレブンX社COO兼LoRaWANアンバサダーのライアン・ヒクリイ氏によると、クラスA機器が最も一般的だという。同氏は、事前に設定された時間枠またはスケジュールでは、クラスA機器は特定の時間に起動してセンシング・データをゲートウェイに送信するため、消費電力が最も少ないと説明している。そして、クラスC機器はダウンリンクで最小の待ち時間で緊急警報または自動制御として機能することができると付け加えた



地域別のLoRa接続.

出典:ABIリサーチ社



LWPAN ICの2017年出荷台数とモジュールの2021年出荷台数の予測。

出典:IHSマーキッツ社

るが、非セルラーLPWAネットワーク技術標準がまだ登場していないことがLoRaWANのより広い採用におけるもう一つの欠点だ」と話している。

セルラーLPWAN技術と比較して、LoRaWANはよりコストを節約し、消費電力を抑える。主にメッシュ型接続ネットワークを採用している他の短距離WLAN通信規格と比較して、LoRaWANネットワーク・アーキテクチャはスター型接続で展開している。ゲートウェイは端末機器と中央ネットワーク・サーバ間で情報を中継する。

多くの展開したネットワークは、個々のエンド・ノードが他のノードから情報を受信し転送して通信範囲を広げるメッシュ・ネットワーク・アーキテクチャを使用する。

ただし、ネットワーク容量とバッテリーの寿命を短くする無関係な情報が送信される可能性がある。LoRaWANは、バッテリー寿命を維持し、長距離接続を可能にするために長距離星型アーキテクチャを採用している。これを達成するために、ゲートウェイは、大量のノードからメッセージを受信するための高いネットワーク容量または能力を有していなければならない。

これを実現するために、LoRaWANはゲートウェイでアダプティブ・データ・レートとマルチチャネル・マルチモデム・トランシーバを使用して、複数チャネルでの同時メッセージを可能にしている。

IHS マーキッツ社は、認可された狭帯域通信IoT (NB-IoT) 規格がLoRaにとって大きな挑戦者になると期待している。LoRaとNB-IoTは、公衆ネットワーク内での戦場で世界的主導者になるために競争することになる。NB-IoTとの激しい競争にもかかわらず、LoRaは非常に差別化されており、よりアクセスしやすいため、プライベート・ネットワークやケーブル事業者などの非伝統的なサービス提供企業に最適なLPWAN技術だ。

スマートホームやビルでの新たな用途

無線通信とセンシング技術の進歩のおかげで、建物と家はよりスマートな居住空間へと進化している。商業ビルでは、効率的な運用と管理が強く望まれている。

住居に関しては、簡単な設置、保守および監視機能がユーザーにとって魅力的となる。設置やメンテナンスが容易で、低コストであることも、スマートホームやビル部門にとって大きなメリットだ。

ヒックリ氏によると、LoRaWANは5~10kmの伝送範囲を持つという大きな利点を持っており、この技術は低データ・レートの応用に焦点を合わせている。また低いデータ・レートはより長い電池寿命を可能にする。これによりメンテナンス費用を直接削減し、設置と管理が経済的になる。さらに、建物や広域での伝送は追加のアクセス・ポイントを必要とせず、インターネット接続に限定されず、IoT産業にとっての低コストの利点をさらに強調する。

ラジオ・ブリッジ社共同創設者兼CEOスティーヴ・キルツ氏は、以前の記事でLoRaWANの費用がネットワーク事業者に直接接続するための1台の機器あたりの月額1ドル未満であると語っている。「LoRaWAN技術では、追加の配線や建物の基盤は必要ない。当社では、『おもてなし』企業の顧客や、情報収集のために建物全体を網羅するために通常1つのゲートウェイしか必要としない不動産管理者と、この利益について議論している」とは説明している。「この技術は、ホーム・セキュリティとビル監視の次

“LoRaWANは5~10kmの伝送範囲を持つという大きな利点を持っている。そしてこの技術は低データ・レート応用に焦点を合わせている。”

の段階だ。保守点検と保証を重視するサービス提供企業にとって、センサはコストのかかる問題の最初の難関だ。

低いメンテナンス料に加えて、この規格を採用している会社は免許不要の周波数帯で運用されているため、周波数帯に料金を払う必要はない。フリー・スペクトラムISMバンドで運用する場合、外部サービス提供企業を使用することで接続費用を低減が低くなる。

調査会社マシナ・リサーチ社は、2022年までに接続機器が140億になると予測しており、その半分以上は地理的位置情報で、そのうち約3分の1が依存すると見ている。セムテック社はこの傾向を見て、追加料金なしでIoTアプリケーション用のLoRa無線RFソリューションにGPSフリーの地理位置情報機能を追加した。

追加された機能は全ての既存のLoRaWANエンド・ノードと互換性があり、バージョン2のLoRaWANゲートウェイ・インフラストラクチャ・リファレンス・デザインは2016年に発表された。LoRaWAN地理的位置情報サービスは、工場資産、建物内の要員、製品出荷の管理おまけにペットの追跡強化に導入されている。

商業用または住宅用建物用に大気や湿度、温度や水の消費量を監視する環境センサを導入して、人々が過ごすために建物や空間を健康的で安全そして快適にする傾向がある。

水による被害は、水センサを地下室または流し台に入れるように消費者を駆り立てる大きな要因となる可能性がある。これらのセンサは床に湿気があると報告することができるので、それが洪水を感知すると出入口に通知し、蛇口を回して水を遮断し、洪水と財産への損害を避ける。一部の国では、冬の間水がパイプ内で凍結する可能性がある。火災や煙また高温を検知するためのセンサもある。

非常に電力効率の良いセンサは、住宅所有者や財産管理者にとって、時間と保守点検費用を節約する上で役立つことができる。互換性も重要だ。

スマート・コネクテッド機器が既に設置されている建物もある。新しい技術を建物に導入する際には、他の既存の機器との相互運用性を考慮する必要がある。

不動産管理者や賃貸住宅所有者のために、Netvox社は全ての管理とデータ視認を1つのプラットフォームに統合する特許取得済みのマルチゲートウェイシステムを開発し、異なるネットワーク下の様々な場所からセンサ測定値の収集と監視を容易にする。「当社がLoRa市場に参入した時点では、多くの分野がインフラストラクチャPOC(概念実証)を通過したばかりであり、適用可能な解決策を数多く必要としていた」とシェン氏は話している。

ホームコントロールとオートメーションに加えて、LoRaWANは家庭や個人介護で採用されている。例えば、この技術は高齢者用の緊急ボタンや装着機器に使用できる。その長距離伝送能力により、センサは屋外または裏庭やガレージで家の外で広く使われている。

エネルギーと水の管理は、スマートビルにおける2つの最大の要求の1つだ。LoRa技術は、ビルの管理者がセンサ、ゲートウェイ、クラウド・プラットフォームを実装して、水の使用量をリアルタイムで監視し、流出や漏洩などの異常を検出するための展開を簡単でしかも手頃な価格のソリューションを提供する。LoRaベースのセンサは既存のメーターに簡単に追加できるため、設置や使用が簡単だ。住宅所有者や事業主は収集され分析されたデータにアクセスして、運用コストを削減するだけでなく、より便利で予測的な保守点検を手配する。

LoRaとLoRaWANは、他のLPWAN技術や短距離LAN規格と比較して問題を解決し、メリットをもたらすことができる新しい技術と言われている。低コストと長い通信範囲は、IoT分野でこの技術を使用する2つの大きな要因となる。また、世界中のネットワーク事業者からのサポートと今後ますます成長するエコシステムも、市場の需要を後押しする追加要因となる。LoRaとLoRaWANには、スマートホームや建築スペースにおける他の競合技術を排除するのに役立つ一定の利点があるが、市場での地位とシェアを高めるためには、新しい技術でエコシステムと他の既存企業とのパートナーシップを強化する必要がある。建築および住宅管理をより効率的かつ費用対効果の高いものにする、より多くの新しいLoRa対応ソリューションの登場は市場で期待されている。



ラジオ・ブリッジ社
共同創業者兼CEO
スティーヴ・キルツ氏



ABIRリサーチ社首席アナリストの
アダルシュ・クリシュナン氏



Netvoxテクノロジー社副社長
ケント・シェン氏



secutech

VIETNAM

ベトナムのセキュリティ、防火、スマートビル の専門家が集う B2Bプラットフォーム

会期 2019年8月14-16日

会場 ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

www.secutechvietnam.com



本部問い合わせ先

Messe Frankfurt New Era Business Media Ltd.

ミッシェル・チュウ

TEL +886 2 8729 1099 ext. 768

Email michelle.chu@newera.messefrankfurt.com

日本問い合わせ先

ASJ合同会社

TEL 03-6206-0448

Email komori@asj-corp.jp



messe frankfurt

クラウドVMSシステムの動向と戦略

イーグルアイネットワークス社創業者兼 CEOディーン・ドレイコ

今や世界のビジネス界ではクラウド・コンピューティングの導入率が高まり、クラウド・ベースの物理セキュリティアプリケーションの導入を検討する組織が増えていますが、約5年前までは考えられないことでした。

日本においてもクラウドの採用は急速に進んでいます。調査会社IDCジャパンによると、パブリック・クラウド・サービス市場規模は2018年で45億ドル、前年比29.8%増と予測しています。プライベート・クラウド・サービスの市場規模は2018年で28億5000万ドル、前年比44.8%の増加となったと予測しています。予測値を支えているのは、日本の中小企業によるクラウド・サービスの採用の増加です。日本のクラウド・サービス市場の拡大は、ICT(情報通信技術)基盤への民間および公共による直接的な投資の成果であり、政府によるクラウド・サービスへの意思表示といえるでしょう。

<https://www.export.gov/article?id=Japan-Cloud-Computing>

クラウド・コンピューティングを可能にするのは仮想化であり、これは物理的なハードウェア機能をソフトウェア・ベースでの実現を可能にしました。しかし仮想上のソフトウェアは、ソフトウェア上での互換なのか、ハードウェア上での互換であるのか、判断することはできません。過去60年間のITの進歩は、仮想化のメリットというより、定量的なメリットの範囲に過ぎないということです。

<https://www.networkworld.com/article/3234795/virtualization/what-is-virtualization-definition-virtual-machine-hypervisor.html>

■仮想化のメリット

コンピュータの世界における仮想化の初期のアプリケーションはサーバ・コンピュータの仮想化で、VMware社とマイクロソフト社がサーバ仮想化ソフトウェアの提供を二分化していました。一般的な企業のWindowベースのサーバは10%未満の使用率で動作し、約500 Wの電力を消費します。仮想化を使用すると、1台のハードウェアを6台のサーバとして容易に機能させ、さらにサーバの耐用年数を短縮することなく、たった550Wの消費で60%の使用率で実現することができます。つまり、必要な物理サーバは6分の1になります。今日の高性能なサーバでは、最大12台の一般的な物理サーバを仮想上で実装することが可能です。これらは現実的で、実現が容易なだけでなく、コスト削減にもつながり、データセンターにとって仮想化はとても魅力です。



■VMSサーバの仮想化

サーバ仮想化の成功にヒントを得て、組織のデータセンターでセキュリティ・カメラのVMS(映像管理ソフトウェア)システムをホストしている組織もあります。これは、ネットワーク帯域の増加によるコストと仮想化によるコスト削減を実現します。一般的なビジネス・サーバとは異なり、ほとんどの映像記録サーバは60%以上のディスク/CPU使用率で動作します。使用率が高いということは、1台の高性能データセンター・サーバであれ、せいぜい2、3台のオンプレミス映像記録サーバ分の置き換えにしなければならないということです。

映像記録サーバのデータセンター仮想化は、サーバの総コストを削減となるももの、データセンターでのVMSの導入では、仮想化が得意とする全ての利点を十分に活用することができません。今日、クラウド・コンピューティング・テクノロジーは、サーバ仮想化をはるかに超える高度な仮想化機能を実装しています。クラウド・コンピューティングは、物理的なサーバの仮想化により、物理的に個別のサーバのCPUやメモリ、データストレージやネットワークに置き換えられました。これらのリソースは、クラウド・データセンター内では共有で利用されています。これにより、クラウド・コンピューティング用に構築されたソフトウェア・アプリケーションが、必要に応じてコンピューティング、メモリ、ストレージ、ネットワークリソースの利用が可能となり、必要なリソースのみが数時間または数分で消費されます。これにより、コストを削減し、信頼性を高めることができます。

これとは対照的に、VMSでは、物理サーバまたは仮想サーバともに、VMSが常に最大限の処理とストレージ、ネットワーク要件を発揮できる要件を備える必要があります。そのため、仮想VMSサーバであっても、実質的には利用率が最大をキープすることがないにしろ、ある程度の容量を備える必要があります。そのためクラウドベースのVMS製品を、データセンターの物理サーバ・仮想サーバに導入されたクライアント・サーバVMSシステムよりも魅力的に、そして多くの場合より手頃な価格で提供する理由です。

■クラウドの特性

ISO/IEC 17788、Cloud Computing Overview and Vocabularyでは、クラウド・コンピューティングの6つの重要なクラウド特性が示されています。これらの特性は、オンプレミスまたはデータセンター・システムを実現するより、ハイパフォーマンスのアプリケーションをより手頃な価格で利用できることが示唆されています。

オンデマンド・セルフサービス

ユーザはアプリケーションにアクセスし、必要に応じてサーバの時間やネットワーク・ストレージなどのクラウド・プラットフォームやインフラリソースを、各サービス・プロバイダやマンパワーなしに自動的にプロビジョニングができます。

ブロード・ネットワーク・アクセス

クラウド・サービス機能はネットワークおよびインターネット経由で利用可能であり、携帯電話、タブレット、ノートPC、ワークステーションなどの標準的な方法でアクセスします。

リソース・プーリング

クラウド・サービス・プロバイダのコンピューティング・リソースは、マルチ・テナント・モデルを利用して複数ユーザにサービスを提供するために共有化され、様々な物理リソースと仮想リソースが顧客の需要に応じて動的に割り当て・再割り当てされます。

マルチテナンシー

クラウド・サービスのリソースは、複数の顧客でアロケートされ、データについては互いに切り離されており、相互にアクセスできないよう割り当てられ、一顧客の利用が、他の顧客のパフォーマンスに影響を与えることはありません。

迅速で弾力性のあるスケーラビリティ

クラウド・サービスのリソースは、ストレージ、プロセッサ、メモリ、ネットワーク帯域などのリソースをすばやく拡張できるよう、状況に応じて自動で迅速かつ弾力的に活用することができます。クラウド・サービスのユーザにとって、プロビジョニング(必要に応じてインフラなどのリソースを提供できるよう事前に予測し、

準備すること)により利用可能な物理的または仮想的なリソースは無制限で、サービス契約上いつでも自動的に任意の数量で購入することができます。

計測サービス

クラウド・サービスの提供は、利用状況を監視、管理、レポート、請求することができることです。これは、提供されるクラウド・サービスを最適化に必要な重要な機能であり、その目的は、ユーザが利用するリソースに対してのみ課金される必要があります。これらの特性により、単一のクラウド・アプリケーション(例えば、Google Mail、Twitter、Line、FacebookおよびSalesforce)を数千万もの加入者が利用することができますようになります。

継続的なデリバリー

クラウド・アプリケーションは、Continuous Delivery(継続的な配信)と呼ばれるソフトウェア・エンジニアリング方法論を利用して開発されています。これは、ソフトウェアを継続的に少しずつ構築、改善、検証、配信する手法です。そのため、クラウドのお客様は常に最新バージョンのソフトウェアを利用しています。最新バージョンのソフトウェアは、ユーザやサービス提供企業によるアクションを必要とせず、自動的にクラウド内に維持されます。これにより、信頼性が高くサイバー・セキュアなアプリケーションが生まれます。

■クラウド・エンジニアリング映像管理システム

クラウド・システムのエンジニアリングは、サーバ・ベースのアプリケーションのソフトウェアやエンジニアリングと大きく異なります。なぜなら、これまで提供が困難であったシステムを提



供するために、クラウド・ベースのサービスが人々の生活や組織の運営を変革し続けているからです。全ての業界のテクノロジーは、クラウド・コンピューティング機能により変革しています。

クラウド・コンピューティング技術によって、クラウド・サービスのリソースをセキュリティ監視カメラのVMSシステムの変化するデマンドに合わせて、柔軟に適用できるよう丹念にチューニングすることが可能になります。高性能のクラウドVMSシステムは、エンドユーザの作業を大きく改善し、サブスクリプション・ベースのマネージド・サービス・モデルは、VMSシステムの効果的な構築とテストそして管理を強力にサポートします。

■クラウドVMSシステムの利点

クラウドVMSシステムは、オンプレミスまたはデータセンター・システムに比べて次のような利点があります。

総所有コストの削減

クラウドVMSデータセンターは、経済性に富み、なおかつインフラが映像管理に特化して設計・構築されているため、オンプレミスでの導入、またはユーザやサードパーティ・データセンターでの導入よりもユーザあたりのコストを抑えることができます。利用者間で共有することにより、ハードウェアを最大限に活用できるだけでなく、電力コスト、ITスタッフのコストを削減します。オンサイト・アプライアンスによるセットアップを削減することで、初期費用も抑えられ、カメラの映像ストリームを受信してクラウドVMSシステムに送信・バッファリングを実現する低コストのオンサイト・アプライアンスのセットアップ費用で構成されています。

冗長性と信頼性

全てのコンピューティング、ストレージ、ネットワーク機器すべての冗長性(ホットスタンバイ)は、オンプレミスおよび一般的な防犯カメラシステムでは手頃に抑えることが困難です。ただし、高度なクラウド・コンピューティング・テクノロジーと広く共有されているインフラの共有によるコスト削減により、クラウドVMSデータセンターでは全ての冗長性を手頃な価格で実現することができます。

技術的な意味での「寿命」

従来のVMSシステムは、老朽化するまでの時間が比較的短いです。導入当初は堅牢な機能であったのかもしれませんが、それらの主力な機能セットはハードウェア購入時にある程度固定されており、ハードウェアのアップデートができない場合があります。今日の急激なテクノロジーの進歩により、固定のハードウェアは急速に陳腐化しています。対照的に、クラウド仮想化とは、クラウドVMSデータセンターのハードウェアをいつでもアップグ

レードまたはリプレースできるため、クラウドVMSシステムは技術的に最新の状態に保たれます。

強力なサイバーセキュリティ

コストの共有と最新テクノロジーによるクラウドVMSシステムの利点は、クラウドVMSのサイバーセキュリティ機能にも当てはまります。定期的なペネトレーション・テストをはじめとする、堅牢なサイバーセキュリティ対策と実施には、クラウドVMSシステム・データセンターでは手頃な価格で技術的に実現可能ですが、オンプレミスまたはデータセンターのVMSシステムでは実現することが困難です。

高いユーザビリティ(使い勝手)

効率的に設計されたクラウドVMSシステムには、メインのクラウドVMS用Webアプリケーションだけでなく、最新のモバイル専用アプリが含まれるため、ユーザは自分のコンピュータ、またはモバイル機器がインターネットに接続されていれば世界中どこでもVMSへ容易にアクセスすることができます。クラウドVMSシステムの利用者は、追加のソフトウェアをインストールする必要がなく、ボタンをクリックするだけで映像解析などの機能を有効にすることができます。

■クラウドVMSシステムに求めるべきもの

クラウドVMSシステムを選択時に確認すべき12項目があります。

1. カメラの選択

あらゆるカメラへのサポートには、クラウドVMSシステムのオンサイト・アプライアンスが「ONVIFプロファイルS」に対応していることを確認してください。また、クラウドVMS用カメラの互換性リストも確認してください。これには、テスト済みのカメラ・ファームウェアのバージョンとともに、1,500を超えるテスト済みのカメラが含まれているはずですが、このリストでは、音声サポートと、360度または180度のパノラマビュー、フィッシュアイビュー、マルチビュー・ストリームを備えたカメラのサポートを識別する必要があります。

2. インターネットが切断した場合の記録

オンサイト・アプライアンスが2日間のビデオ・バッファリングをサポートし、利用可能なインターネット帯域を考慮して、共有するクラウドVMSシステムへの情報の転送できることを確認してください。ローカルでの記録が利用できる場合があります。

3. データの暗号化

256ビットのAES暗号化は、ローカルでバッファされた映像、ローカルで記録された映像、およびクラウドで記録された映像に適用する必要があります。



4. データセンターの場所

データセンターの場所は、データ保護とデータ・プライバシーの考慮事項がどのように対処されているかとともに指定する必要があります。

5. クラウド・ストレージの冗長性

記録映像は、完全に冗長な映像ストレージを使用して、損失から保護される必要があります(3重冗長が最適)。

6. クラウド・データセンターの所有権

独自のデータセンターを所有することで、クラウドVMSシステム・プロバイダは、データセンター・インフラが高性能の映像記録および監視用に設計・運用されていることを確認することができます。

7. 強力なサイバーセキュリティ

オンプレミス機器は完全にクラウド管理され、カメラのマルウェアによる攻撃を防ぎ、感染している可能性のあるカメラによる外部への通信を防ぐファイアウォール機能を備えている必要があります。クラウドVMSシステムのアプリケーションには、二要素認証を提供する必要があります。その防御は強力なペネトレーション・テストによって定期的にチェックされなければなりません。

8. 第一応答者の映像共有

インシデント対応を最大限にサポートするために、安全で管理が容易な選択されたライブ映像および既得映像へのアクセスを提供する必要があります。

9. システム・パフォーマンス・メトリクス

システム・パフォーマンスは、ダウンロード可能な棒グラフと、カメラLANパケット・ロス、カメラLAN帯域利用量、インターネット帯域利用量、およびオンサイト・アプライアンスのバッファ利用量を含む、折れ線グラフを使用して追跡する必要があります。

10. 自動オフライン・カメラ回復

カメラがオフラインになると、オンサイトのバッファリングまたは記録機器は自動的にカメラ接続を再開するための手順を行います。これには、カメラの再起動や、カメラがオンラインに戻らない場合の手動電源再投入のアラートの発報などを含みます。

11. 統合されたAPI

クラウドVMSシステムは、物理的なアクセス・コントロール、司令室の監視、小売店の監視、店舗のフランチャイズ管理など、他のシステムと統合するための安全なAPIを提供する必要があります。

12. 信頼のできる販売代理店

クラウドVMSシステム・サービスを含む映像監視サービスを提供する知識豊富で役立つ親切なディーラー(販売代理店)を見つけてください。

■ 筆者紹介

ディーン・ドレイコ氏は、世界最大のクラウド・ベースの映像監視会社であるイーグルアイネットワークス社創業者。同氏は、他にも複数の優れたセキュリティ関連企業を設立。またイーグルアイネットワークス社だけでなく、クラウド・ベースのアクセス・コントロール企業Brivo社のオーナー兼会長でもある。ドレイコ氏はかつてバラクーダネットワークス社の創設者兼社長兼CEOとして、業界初となるメール・セキュリティ・プライアンスや様々なサイバーセキュリティ製品を開発した。同氏はミシガン大学アン・アーバー校電気工学科学学士号、カリフォルニア大学バークレー校電気工学科学修士号を取得。金融グループのゴールドマンサックスはディーン・ドレイコ氏を「2014年の最も魅力的な起業家100人」の一人として挙げた。



a&s JAPAN 電子版

定期無料購読のご案内

簡単な手続きで毎号お読みいただけます



① <http://www.asj-corp.jp/> にアクセス

② このバナーをクリック



③ 登録画面の全項目にご記入

送信する

④ 「送信する」をクリック

⑤ 登録完了メールをお送りします

最新号発行のたびに
アクセスするURLをお送りします

差出人: セキュリティ国際情報誌 a&s JAPAN <info@asj-corp.jp>
件名: a&s JAPAN電子版 最新号発行のお知らせ!
日時: 2013年03月27日 14:00
宛先: info@asj-corp.jp

本メールは、弊社HPよりa&s JAPAN 電子版に読者登録された方イベント会場にて電子版代行登録を希望された方に送信しております。

◆◆a&s JAPAN 電子版 3/4月号発行のお知らせ◆◆

セキュリティ国際情報誌 a&s JAPAN【電子版】を発行いたしました!
下記アドレスよりアクセスをお願いいたします!

<http://www.asj-corp.jp/201302271830/no33.pdf>

a&s JAPAN (ASJ合同会社)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-7-1 ウィン神田ビル10階 TEL.03-6206-0448 FAX.03-6206-0452

出展社一覧

出展ゾーン	小間番号	社名
総合セキュリティゾーン	SS7101	ALSOK
	SS7102	サンデジタルシステム
	SS7103	DAHUA TECHNOLOGY
	SS7201	VIVOTEK
	SS7202	エイム電子
	SS7203	日本エヤークラフトサプライ
	SS7205	計電産業
	SS7206	東京スカイツリー
	SS7207	朋栄
	SS7208	第一実業
	SS7209	日立国際電気
	SS7209	日立産業制御ソリューションズ
	SS7210	スリーディー
	SS7211	ZKTECO
	SS7212	HUVITECH
	SS7213	英田エンジニアリング
	SS7214	プライム・テクノロジー
	SS7215	ゴール
	SS7217	レッツ・コーポレーション
	SS7301	リガク
	SS7302	XIAMEN DNAKE INTELLIGENT TECHNOLOGY
	SS7303	日本防犯システム
	SS7304	クマヒラ
	SS7305	三菱電機
	SS7306	JVCケンウッド・公共産業システム
	SS7307	ティービーアイ
	SS7308	TOA
	SS7309	テスコムジャパン
	SS7309	ユニモテクノロジー
	SS7310	キャノン
	SS7310	キャノンマーケティングジャパン
	SS7310	マイルストーンシステムズ
	SS7311	アクシスコミュニケーションズ
	SS7411	インターラック
	SS7412	フリーシステムズジャパン
	SS7413	日精
	SS7414	日本映像システム
	SS7415	ユニボット
	SS7416	TMMトレーディング
	SS7417	TELEPOWER COMMUNICATION
	SS7418	セキュリティハウス・センター
	SS7502	ケンコー・トキナー
SS7503	マトリックス電子	
SS7504	中発販売	

出展ゾーン	小間番号	社名
総合セキュリティゾーン	SS7505	ジョブル
	SS7506	Eagle Eye Networks
	SS7507	三井物産エアロスペース
	SS7508	NEC
	SS7508	NECプラットフォームズ
	SS7509	アイアンドディ
	SS7510	富士フイルム
	SS7511	日興電気通信
	SS7512	プロテック
	SS7513	ピナクル
	SS7514	近計システム
	SS7515	クボテック
	SS7516	キャロットシステムズ
	SS7517	ワテック
	SS7518	日本電業工作
	SS7519	ユアサ工機
	SS7520	東京エレクトロニクスシステムズ
	SS7601	オカムラ
	SS7609	兼松サステック
	SS7801	CMITECH
	SS7803	エーエスシー
	SS7804	サン電子
	SS7805	ダイワインダストリ
	SS7808	MAGNETIC CONTROL SYSTEMS
	SS7810	サノヤス・エンジニアリング
	SS7811	VIVAKOREA
	SS7818	3R GLOBAL
	SS7820	SEEEYES
	SS7821	RIFATRON
	SS7822	INTERCOAX
	SS7823	SUNIN UNITECH
	SS7824	HIGH VISION TECH
	SS7825	HT VISION
	SS7901	タムロン
	SS7902	FOSHAN SHUNDE GUANYUDA POWER SUPPLY
	SS7903	プライムセキュリティー
	SS7904	日本ハルコン
	SS7905	CLUB CENTIO
	SS7906	シーズンテック
	SS7907	東芝メモリ
	SS7908	ケイグランデ
	SS7909	マースウインテック
SS7911	共栄工業	
SS7912	ヨネイ	
SS7914	パブリックシステム	

出展ゾーン	小間番号	社名
総合セキュリティゾーン	SS7915	ZHEJIANG TIANJIE INDUSTRIAL
	SS7917	ANYSELL
	SS7920	CRI・ミドルウェア
	SS7921	MSK
	SS7923	リバスト
	SS7924	マイクロン
	SS8101	NSK
	SS8102	安田
	SS8103	セントラル警備保障
	SS8104	セキュリティデザイン
	SS8105	Fujitaka
	SS8106	アズビル
	SS8107	パナソニックグループ
	SS8108	美和ロック
	SS8109	ソリトンシステムズ
	SS8110	IDマネジメント
	SS8110	エーティーワークス
	SS8111	LIPS
	SS8112	ZHONGSHAN CITY JIXIN CORE LOCK
	SS8113	SHENZHEN WELLCAM
	SS8114	WFE TECHNOLOGY
	SS8115	EDISTOR TECHNOLOGIES
	SS8116	インテル
	SS8201	スタンレー電気
	SS8202	ソニービジネスソリューション
	SS8203	オーム電機
	SS8204	エスシー
	SS8205	コンピュータシステム研究所
	SS8207	ホーチキ
	SS9101	カーデックス
	SS9104	マザーツール
	SS9105	日本電子工業
	SS9106	ジェピコ
SS9107	タカヤ	
SS9109	エルーア・システム	
SS9110	加藤電機	
ネットワークカメラ & 映像クラウドゾーン	SS7602	ASK TRADING
	SS7603	ヴィ・インターネットオペレーションズ
	SS7605	ディーズセキュリティ
	SS7606	アツミ電気
	SS7606	UNIVIEW
	SS7607	日本ハネウェル
	SS7608	池上通信機
	SS7701	PROMISEテクノロジー
	SS7702	EIZO

出展ゾーン	小間番号	社名
ネットワークカメラ & 映像クラウドゾーン	SS7703	ダブリュー・ビィ・ジャパン
	SS7704	CHO&COMPANY
	SS7704	ビッグローブ
	SS7705	サードアイズ
	SS7706	ケービデバイス
	SS7707	SIKLU COMMUNICATION
	SS7708	太陽誘電
	SS7709	ソリッドカメラ
	SS7710	セイコーソリューションズ
	SS7711	R.O.D
	SS7712	シチズンTIC
	SS7713	アベックス
	SS7714	MIYOSHI
	SS7715	MILESIGHT TECHNOLOGY
	SS7716	a&s JAPAN
	SS7717	ビデオテクニカ
	SS7718	Jセキュリティ
SS7817	Genetec	
IoT・情報セキュリティゾーン	SS7104	NTTコミュニケーションズ
	SS7401	iMicroData Japan
	SS7402	デジオン
	SS7403	MAMORIO
	SS7404	ピーエスアイ
	SS7405	ハイテックシステム
	SS7406	インタフェース
	SS7407	ウィンボンド・エレクトロニクス
	SS7408	Rosnes
	SS7409	ヤマハ
SS7410	創朋	
AI・映像解析ゾーン	SS7501	アライドテレシス
	SS7809	EURESYS JAPAN
	SS7812	アドコム・メディア
	SS7813	KB-eye
	SS7814	OKI
	SS7815	バル技研
災害対策ゾーン	SS7816	システム計画研究所/ISP
	SS7204	ソフトバンク
	SS7216	ハイテクインター
	SS7218	JX通信社
	SS7219	日辰電機製作所
	SS7220	電気興業
	スマートホームゾーン	SS9102
SS9103		SQUIRE
SS9108		NAKAYO

「ASIS 東京セキュリティカンファレンス2019」の詳細

SECURITY SHOW 2019の開催に併せて開催される「ASIS 東京セキュリティカンファレンス2019」セミナーの詳細が発表された。

カンファレンスの日程は、2019年3月4日19時のレセプションから始まり、3月5日は9時から17時までのセミナー、18時からの懇親会、3月6日は海外参加者対象のSECURITY SHOW 2019会場ツアーとなっている。セミナー会場は、東京ビッグサイト会議棟6階605+606で開催される。

セミナーは、メインテーマを新しいフレームワーク「ESRM」とし、サブテーマが「セキュリティはコストでなく重要経営課題」としている。

登壇者は次の方々が決定している。

本イベントに関する情報は下記から入手することができる。

問い合わせ・info@asis-japan.org

参加申し込み・http://www.asis-japan.org/



2020年会長(内定)
ゴッドフリード・ヘンドリックス氏



元ASIS ASISASIS
インターナショナル本部長
エドワルド・エムデ氏



ボードルーム@クライシス社長
グレン・ショーン氏



JTインターナショナル
国際セキュリティ統括部長
ルゲイ・ウルソフ氏



プロセコ(ハイネケン・グローバ
ル・セキュリティ)社長
ルネ・ボルフリート氏



オランダ王国保健・福祉・
スポーツ省CSO
(チーフセキュリティオフィサー)
ベルント・リフ氏



セコム企画部担当部長兼
Tokyo2020推進本部
長谷川精也 博士



元陸上自衛隊化学学校副校長、
重松製作所主任研究員
濱田昌彦氏



弁護士、PwCアドバイザリー・
パートナー兼フォレンジック
サービスリーダー
大塚豪氏



米国パシフィック・
ノースウェスト国立研究所
国家セキュリティ専門官
ソリン・ブドロスキ氏

「ASIS 東京セキュリティカンファレンス 2019」 セミナー時間割

時間	内容	登壇者
8:30~	受付開始	会議棟6階にて受付開始
9:00~9:15	開会挨拶	一般社団法人ASISインターナショナル日本支部理事、カンファレンス準備委員長、ASIS インターナショナル東・中央アジア地域上級副会長 上原誠司氏 一般社団法人ASISインターナショナル日本支部代表理事 長瀬泰郎氏
9:20~9:40	本部からの挨拶	「ASISインターナショナル本部からのメッセージ」 ASISインターナショナル本部2020年会長(内定) ゴッドフリード・ヘンドリックス氏
9:45 - 10:15	基調講演	「ESRMの概念及び組織にもたらす価値」 元ASISインターナショナル本部長 エドワルド・エムデ氏
10:20 - 10:50	セッション1	「ESRMと大型国際イベント」 ボードルーム@クライシス社長 グレン・ショーン氏
10:50 - 11:05		コーヒーブレイク
11:05 - 11:35	セッション2	「セキュリティ専任者のためのi- ESRM入門」 JTインターナショナル国際セキュリティ統括部長 ルゲイ・ウルソフ氏
11:40 - 12:10	セッション3	「2020年オリンピックに併設するオランダの『ハイネケンハウス』 と開催イベントにおける安心と安全の確保」 プロセコ(ハイネケン・グローバル・セキュリティ)社長 ルネ・ボルフリート氏
12:10 - 13:40		昼食休憩
13:40 - 14:10	セッション-4	「情報の共有とインテリジェンスが作る 大規模イベントのセキュリティ」 オランダ王国保健・福祉・スポーツ省CSO (チーフセキュリティオフィサー) ベルント・リフ氏
14:15 - 14:45	セッション-5	「ESRMにおいてセキュリティサービスが果たす役割」 セコム企画部担当部長兼Tokyo2020推進本部 長谷川精也 博士
14:50 - 15:20	セッション-6	「地下鉄サリン事件の教訓と残る課題」 元陸上自衛隊化学学校副校長、重松製作所主任研究員 濱田昌彦氏
15:20 - 15:50		コーヒーブレイク
15:50 - 16:20	セッション-7	「顕在化するリーガルリスクへの対応」 弁護士、PwCアドバイザリー・パートナー兼 フォレンジックサービス・リーダー 大塚豪氏
16:25 - 16:55	セッション-8	「効果的な物的防護システムの構築」 米国パシフィック・ノースウェスト国立研究所 国家セキュリティ専門官 ソリン・ブドロスキ氏
16:55 - 17:00		閉会あいさつ

2019年3月

SECURITY SHOW 2019

会期:2019年3月5日～8日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:東京ビックサイト
 主催:日本経済新聞社
 URL: <https://messe.nikkei.co.jp/ss/>

リテールテックJAPAN 2019

会期:2019年3月5日～8日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:東京ビックサイト
 主催:日本経済新聞社
 URL: <https://messe.nikkei.co.jp/rt/>

ライティング・フェア2019

会期:2019年3月5日～8日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:東京ビックサイト
 主催:日本経済新聞社
 URL: <https://messe.nikkei.co.jp/rt/>

上記3月開催の3つのイベントへの出展は、
 ASJ合同会社も取り扱っております。
 TEL・03-6206-0448
 E-MAIL・komori@asj-corp.jp

4月

第22回 組込みシステム 開発技術展

会期:2019年4月10日～12日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:東京ビックサイト 西1-4
 主催:リードエグジビション ジャパン
 URL: <https://www.japan-it.jp/ja-jp/about/ese.html>

ISC WEST

会期:2019年4月10日～12日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:Sands Expo Center
 米国ネバダ州ラスベガス
 主催:Reed Exhibitions
 URL: <http://www.iscwest.com>

SECUTECH INDIA

会期:2019年4月25日～27日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:BEC インド共和国ムンバイ市
 主催:ABEC Exhibitions & Conferences,
 MESSE FRANKFURT NEW ERA
 BUSINESS MEDIA LTD.
 URL: <http://secutechexpo.com/index>

5月

SECUTECH

会期:2019年5月8日～10日
 会場:台北市南港国際展覽館
 〒11568 台北市南港区経貿二路
 主催:Messe Frankfurt New Era
 Business Media Ltd, Taiwan
 Branch
 (香港商法蘭克福新時代傳媒
 有限公司 台湾分公司)
 8F, No. 288, Sec. 6, Civic
 Boulevard Xinyi District, Taipei
 110, Taiwan
 (〒110 台湾台北市信義区市民
 大道6路228号8階)
 TEL:+886 2 8729 1099
 URL: <https://secutech.tw.messefrankfurt.com/taipei/en.html>

本イベントに関するお問い合わせは、
 ASJ合同会社までお願いいたします。
 TEL・03-6206-0448
 E-MAIL・komori@asj-corp.jp

クラウド コンピューティング EXPO【春】

会期:2019年5月8日～10日
 開場:10:00 - 18:00
 会場:東京ビックサイト 西1-4
 主催:リードエグジビション ジャパン
 URL: <https://spring.japan-it.jp/ja-jp/about/cloud.html>

データストレージ EXPO

会期:2019年5月8日～10日
 開場:10:00 - 18:00
 会場:東京ビックサイト 西1-4
 主催:リードエグジビション ジャパン
 URL: <https://spring.japan-it.jp/ja-jp/about/dse.html>

名古屋デジタルイノベーション

会期:2019年5月22日～23日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:吹上ホール
 主催:日経BP社
 URL: <https://nkb.jp/dinv>

関西デジタルイノベーション

会期:2019年5月29日～30日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:グランフロント大阪
 主催:日経BP社
 URL: <https://nkb.jp/dinv>

第14回 オフィスセキュリティ EXPO

会期:2019年5月29日～31日
 開場:10:00 - 18:00
 会場:東京ビックサイト 西1-4
 主催:リードエグジビション ジャパン
 URL: <https://spring.japan-it.jp/ja-jp/about/dse.html>

6月

九州デジタルイノベーション

会期:2019年6月18日～19日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:福岡国際会議場
 主催:日経BP社
 URL: <https://nkb.jp/dinv>

7月

札幌デジタルイノベーション

会期:2019年7月18日～19日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:札幌コンベンションセンター
 主催:日経BP社
 URL: <https://nkb.jp/dinv>

8月

SECUTECH VIETNAM

会期:2019年8月14日～16日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:サイゴン・コンベンション・センター (SECC)
 799 Nguyen Van Linh, Tan
 Phu Ward, Dist. 7. Hachiman City
 主催:MESSE FRANKFURT NEW ERA
 BUSINESS MEDIA LTD.
 URL: www.secutechvietnam.com

10月

SECUTECH THAILAND

会期:2019年10月28日～30日
 開場:10:00 - 17:00
 会場:バンコク国際貿易展示場(BITEC)
 88 Bang Na-Trat Rd, Khwaeng
 Bang Na, Khet Bang Na, Krung
 Thep Maha Nakhon 10260
 主催:MESSE FRANKFURT NEW ERA
 BUSINESS MEDIA LTD.
 URL: www.secutechthailand.com

上記8、10月開催のイベントに関するお問い合わせは、ASJ合同会社までお願いいたします。
 TEL・03-6206-0448
 E-MAIL・komori@asj-corp.jp

IPネットワーク監視システム提供企業の責任に関する意見

前号の本欄で触れていたが、サイバーセキュリティについて、第一義では、OEM製品であれ、自社開発製品であれ、メーカーがまず責任を負うべきということが正論では無いだろうか。よもやOEM供給先に責任転嫁する企業は無いと考
えたいが、そこまでの検証を行なうのはOEM製品を取り扱う企業の根本的な義務であろう。

あるOEM製品を取り扱っている企業では、ファームウェアだけは日本側で独自に仕様変更して、さらに最終段階で検
証作業を済ませてから製品を供給している。これこそがシステムのセキュリティを確保することができるだろう姿勢で
はないだろうか。

日本を代表するトップブランドのメーカーはもちろん輸入販売している企業も、信用と信頼を構築し維持するために、確
固たる姿勢と行動を取っていただきたい。

(東京 設置施工業)

アナログHD映像監視システムでのセキュリティ問題に関する記事掲載を希望する

当社はアナログHD監視システムを導入しているが、その範囲は敷地内だけでの利用しているためか、セキュリティにつ
いては何の対策も講じていない。しかし、昨今頻発しているシステム侵入のニュースに触れていると、安穩としていて
大丈夫か不安に駆られる。

そこで、アナログHD監視システムにおけるセキュリティについて、貴誌で取り上げていただきたい。例えば、映像デー
タを別途保管する場合に注意しなければならない留意点を含めて、想定することができる幾つもの種類のアナログHD
監視システムを精査した情報を提供していただきたい。

ネットワーク映像監視システムを利用する必要性がないから全てが安全だという考え方でなく、発生してからでは手遅
れになるから「転ばぬ先の杖」とする考え方こそが、システム管理者としての責任だと意識している。

(京都 食品メーカー)

「読者の声」を募集しています。

本誌では、セキュリティに関する読者の皆様のご意見やご提案を募集して
います。セキュリティ機器やシステムを供給している側、セキュリティ・システ
ムを既に導入あるいは導入を予定している側、いずれの側からの応募をお待ち
しています。ただし、特定企業や団体または個人に対する誹謗中傷または批判
的な内容をご遠慮ください。

一例を挙げると、導入する場合の手順はどのように進めれば良いのか。導入
前の事前説明についてはどこに相談すべきなのか。メーカーなのか販売会社なの
か、システム構築企業や設置施工企業なのか、それともセキュリティ・コンサ
ルタント企業なのか。セキュリティに関する疑問や意見また提案など、セキュ
リティ関連であれば詳細は問いません。掲載する場合は匿名扱いとしますので、
個人情報や漏洩することはありません

なお、具体的な導入相談については、導入条件や環境についてできるだけ具
体的な内容をご連絡ください。ご応募をお待ちしております。



a&s JAPAN編集部

TEL : 03-6206-0448

FAX : 03-6206-0452

MAIL : info@asj-corp.jp

secutech

THAILAND

2019年10月28-30日
タイ王国バンコク

**タイで開催される
セキュリティ、防火、スマートライフフェアが、
持続可能な都市開発を促進します。**

www.secutechthailand.com

日本問い合わせ先
ASJ合同会社
TEL 03-6206-0448
Email komori@asj-corp.jp

Concurrent with:

thailand lighting fair thailand building fair



WORLDDEX
Group of Exhibition Companies



messe frankfurt

secutech

2019年5月8 - 10日 台湾台北市
www.secutech.com

IoT&AIエコ・システムなど、 アジアのセキュリティが 一堂に集まる

7つのスマート・ソリューション展示

- スマート小売、スマート健康管理
- スマート・ホテル、スマート情報交換
- スマート工場、スマート輸送
- スマート駐車

7つのテーマ・ゾーン

1. AI + ソフトウェア・ゾーン
2. RFID応用ゾーン
3. LPWAN応用ゾーン
4. スマート施設ゾーン
5. サイバーセキュリティ・ゾーン
6. 警備設備ゾーン
7. スマート工場 & 産業用安全ゾーン



MOBILITY
powered by Secutech

- インテリジェント輸送システム向けアジアでの主要イベント
- スマート道路、スマート鉄道、スマート駐車から船団の管理まで幅広いソリューションの紹介

SM BIoT SOLUTION
powered by Secutech

- アジア初のスマート・ビルIoT市場分野のイベント
- 住宅、情報交換、介護、看護施設、商業ビルディング向けの代表的なソリューション


fire & safety
powered by Secutech

- 自然災害監視、安全都市、産業安全から個人安全までの様々な代表的なソリューション
- スマートな防災応用事例

info security
powered by Secutech

- IoT向け最新サイバー・セキュリティ・ソリューションの公開

日本での問い合わせ先
ASJ合同会社
TEL : 03-6206-0448
E-mail : komori@asj-corp.jp

 messe frankfurt